

# Hisense<sup>®</sup>

## 4K 液晶テレビ

取扱説明書

43A65H  
50A65H  
65A65H

お買い上げいただきましてありがとうございます。

**この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。**

特に「安全上のご注意（※ 2～8 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

1303377 ES-A22310T-1 B

# Hisense<sup>®</sup> ハイセンス

## サポートセンター

フリーダイヤル： 0120-835-111

受付時間： 365日 9:00～18:00

FAX： 0570-06-1117(有料)

メールフォーム：<https://www.hisense.co.jp/contact/>

## ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号

<https://www.hisense.co.jp>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Corporation

# 目次

目次.....	1
安全上のご注意 .....	2
本書の読みかた .....	9

## 機器の準備・接続をする

使用上のご注意・お手入れについて.....	10
各部の名前 .....	12
本体操作部 .....	12
本体接続部 .....	13
リモコン .....	15
付属品を確認する .....	17
リモコンについて .....	18
デジタル放送について.....	19
デジタル放送の特徴.....	19
本機で視聴可能なデジタル放送の種類.....	20
デジタル放送を視聴するための準備.....	20
設置のしかた .....	21
設置の手順 .....	21
スタンドを取りつける .....	22
アンテナの接続 .....	23
UHF アンテナを接続する .....	23
BS・110度CS 共用アンテナを接続する .....	24
マンションなどの共聴システムで接続する .....	24
BS・110度CS の4K 放送を視聴する場合 .....	25
LAN への接続 .....	26
有線 LAN で接続する .....	26

無線 LAN で接続する .....	27
ホームネットワークの接続をする .....	27
電源コードの接続 .....	28
接続する .....	28
電源に関するご注意 .....	28
他の機器との接続 .....	29
USB ハードディスクを接続する .....	29
USB 機器を接続する .....	30
ヘッドホンやアナログ音声入力端子付の オーディオ機器を接続する .....	30
DVD プレーヤーなどを接続する .....	31
HDMI 出力のある機器に接続する .....	32
光デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する.....	34
HDMI 連動 (CEC) 対応機器と接続する .....	34

## テレビを使う

「はじめての設定」をする .....	35
文字の入力のしかた.....	37

## その他の情報

故障かな？と思ったら .....	38
主な仕様.....	39
有料衛星放送サービスについて .....	46
ライセンスおよび商標などについて.....	47
無線の周波数について.....	48
保証とアフターサービス.....	49

## 取扱説明書電子版について

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- 本機の詳しい操作については、ハイセンス取扱説明書ダウンロードページ内の取扱説明書・機能操作ガイドをご確認ください。

※記載の URL 及び QR コードで本取扱説明書が表示されない場合は、「ハイセンスジャパン TV」とブラウザ上で検索をしてハイセンス公式ホームページより、所定の TV 型番号にて取扱説明書を検索してください。

- ハイセンス取扱説明書ダウンロードページ  
[https://www.hisense.co.jp/tv/a65h/assets/pdf/function\\_manual.pdf](https://www.hisense.co.jp/tv/a65h/assets/pdf/function_manual.pdf)



※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

# ● 安全上のご注意

ご使用前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



## 警告

この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。



## 注意

この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

### 図記号の意味 (例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。



## 警告 (移動、設置)



### 正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。特に、画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は専用の箱やクッション材をご用意したうえ、十分気を付けてお運びください。必ず2人で運搬 / 移動 / 設置をしてください。



### 運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



### 使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。



### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・おお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・布をかけない。





## 警告（移動、設置）（つづき）



### 周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

- ・上部 :30 cm
- ・左右 :10 cm
- ・下部 :10 cm（壁掛けの場合）
- ・背面 :6 cm



### 壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう

専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不完全または誤った据え付けかたをすると、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。



### スタンドを正しく取り付け、転倒防止の処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてください。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。



### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。多くのけが、特にお子様のけがは次のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- ・スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- ・本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- ・本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。

- ・背の高い家具（食器棚や本棚など）の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- ・本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- ・お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。



### 乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



### 湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、ホットカーペットの上や熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。



### 本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



### 屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

## ● 安全上のご注意 (つづき)

### 警告 (移動、設置) (つづき)

#### 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際での使用は特にご注意ください。

#### 本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因になることがあります。


#### 移動後及び再設置について

テレビを移動して配置したり、接続機器及び周辺の使用環境が変わったりした場合、上記の内容に踏まえてもう一度注意事項をご確認ください。


#### 目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いをかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。


## 警告（電源コード・プラグ）

 コンセントや配線機器の定格を超える  
使いかたや、交流 100V (50/60Hz)  
以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

 電源コードを傷つけたり、加工したり、  
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲  
げたり、加熱したりしない


電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

 電源コードに重いものを載せたり、  
本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

 ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでみゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

 電源プラグをつなぐのは、他機器との  
接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因となることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差ししてください。

 電源プラグは定期的にお手入れを


電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

 お手入れの際、電源プラグを抜く


電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

 めれた手で電源プラグにさわらない


めれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源  
プラグに触れない

感電の原因となります。

 他の電源コードを本製品に使用したり、付  
属の電源コードを他の商品に使用しない

火災・感電・ショートの原因となります。

## 安全上のご注意 (つづき)

### 警告 (使用)

#### 本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

#### 煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

#### 内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものや火のついたろうそくのような裸火を置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

#### 分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

### 警告 (電池)

#### 電池 (電池パックまたは組込電池) は、直射日光や火などの過度の熱にさらさない。電池を火の中に入れない。分解、加熱、充電したり、ショートさせたりしない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

## 注意

### お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

### 電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

### 人が通行するような場所に置かない・コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

### 風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

### たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

### 重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

### 電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

### 液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

### 内部の掃除について

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3年に1度は内部の掃除をお買い上げ店またはサポートセンターにご相談ください。

### 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度な音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

### アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

## 安全上のご注意 (つづき)

### 注意 (電池)

#### 指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

#### 電池の液がもれたときは素手でさわらない

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

#### 廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

### 注意 (廃棄)

#### 一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

#### 家電リサイクル法に従って廃棄する

家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村などの自治体に適正に引き渡すことが求められています。

詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リサイクル券センターまでお願いいたします。

電話：(フリーダイヤル) 0120-319640

ホームページ (URL):

[http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p\\_procedure\\_s.html](http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure_s.html)



# ● 本書の読みかた

## 説明のしかたについて

- 本書は、43A65H/50A65H/65A65H で共用です。本書中のイラストは特に断りのない限り、50A65H のイラストで説明しています。他の機種はイメージが多少異なります。
- 本書のイラスト、画面表示などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 文中の太字は画面に表示される選択項目、カッコ付きの太字はボタン名を表しています。

例)

選択項目：**映像設定** / **録画設定** / **放送受信設定**

ボタン名：**[電源]** / **[入力切換]** / **[決定]**

## アイコンについて

### ⚠️ ご注意

説明文中で、とくにご注意いただきたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

### お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

# ● 使用上のご注意・お手入れについて

## 液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがあります。故障ではありません。

## 輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

## メモリーや外部録画機器に保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録できなかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。

## 外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーを使用すると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。

## アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。



## 電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

## 長時間ご使用にならないとき

- 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

## 国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。  
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

## 取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

## 使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。
- 周辺温度は 5 ~ 35℃ の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

## 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

## リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

## 映像や音声の遅れについて

- テレビ放送、外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

## USB ハードディスクについて

- USB ハードディスクを本機に正しく接続してください。正しく接続されていないと、本機では USB ハードディスクの登録ができません。またハードディスクを破損するおそれがあります。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因になります。

# 各部の名前

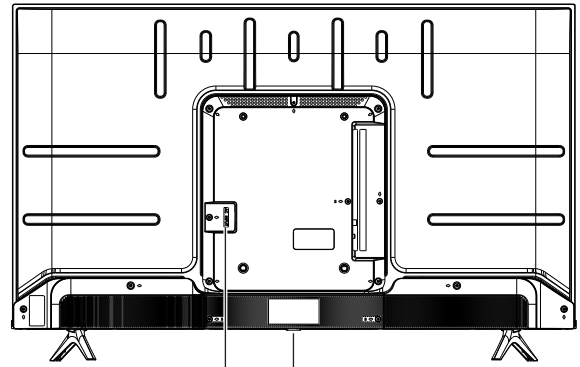
## 本体操作部

(正面)



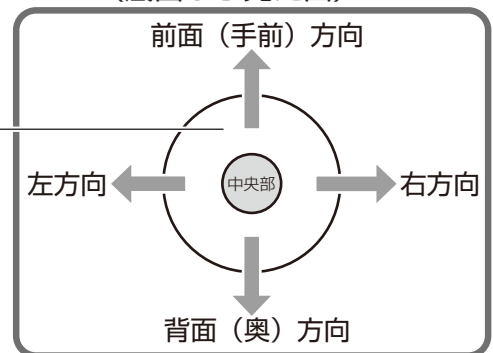
リモコン受光部  
電源ランプ  
明るさセンサー

(背面)



AC INPUT 電源ボタン

(底面から見た図)



(電源ボタン)  
ジョイスティック

### ■ジョイスティック (中央部) を押す：

電源「入」と電源「切」の切り換えを行います。

### ■ジョイスティックを奥に倒す：

一時的に音を消す (消音する) ことができます。

### ■ジョイスティックを左右に倒す：

音量を調節することができます。右に倒すと、音量が大きくなり、左に倒すと音量が小さくなります。

### ■ジョイスティックを手前に倒す：

倒すごとに以下のようにモードが切り換わります。

チャンネル切換



放送切換



入力切換



元に戻る (音量調節)

各切換モードでジョイスティックを左右に倒すと、それぞれの項目の切り換えができます。

### お知らせ

- 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

電源「切」：消灯

電源「待機」：赤

電源「入」：白

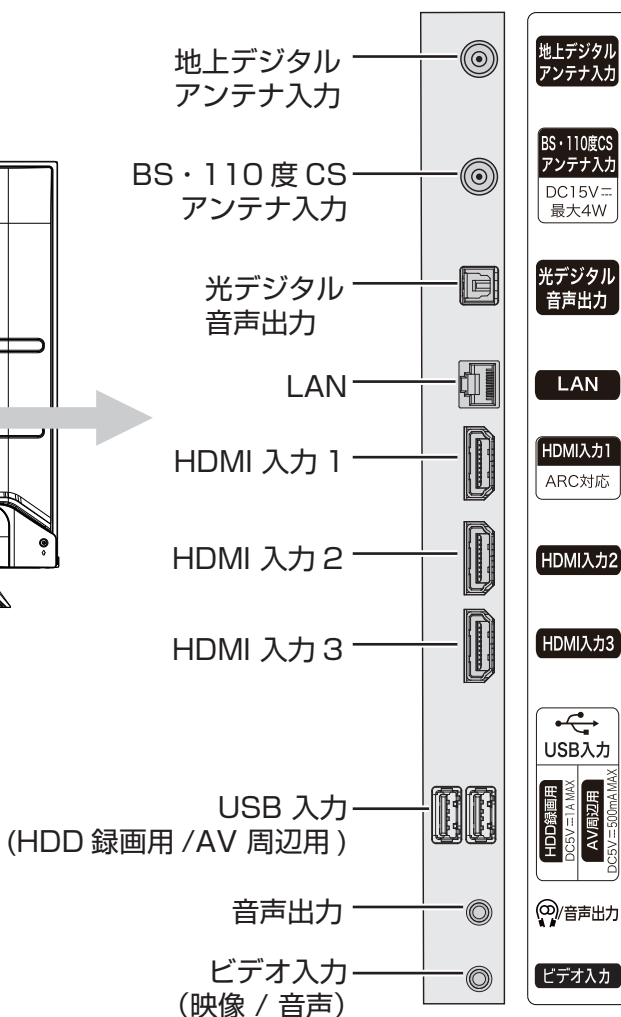
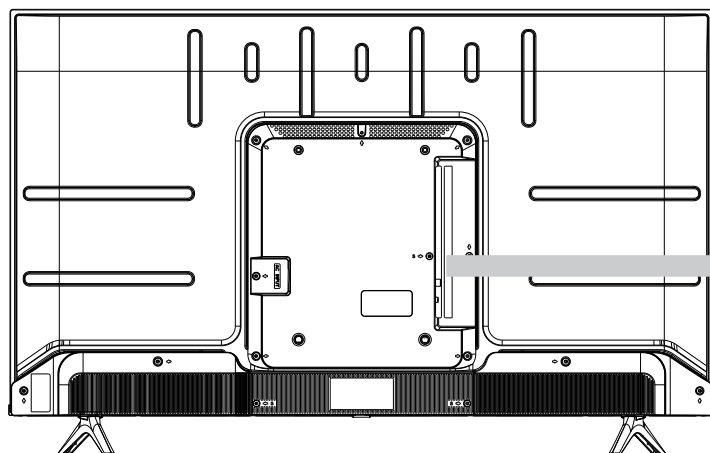
### ⚠️ ご注意

- 「待機」のときは、電源を切った状態と比較して消費電力が高くなります。旅行など、本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、本体の電源ボタンで「切」にしてください。

## 本体接続部

### ■ 43A65H/50A65H

説明例：50A65H



#### 地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

#### BS・110度CSアンテナ入力

アンテナケーブルを使用してBS・110度CSアンテナを接続します。

#### 光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

#### LAN

動画配信サービス、データ放送や双方向通信にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

#### HDMI 入力 1/HDMI 入力 2/HDMI 入力 3

市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

#### USB 入力 (HDD 録画用 / AV 周辺用)

市販のUSBハードディスクやUSB機器を接続します。

#### 音声出力

ヘッドホンや外部オーディオ機器などと接続します。

#### ビデオ入力 (映像 / 音声)

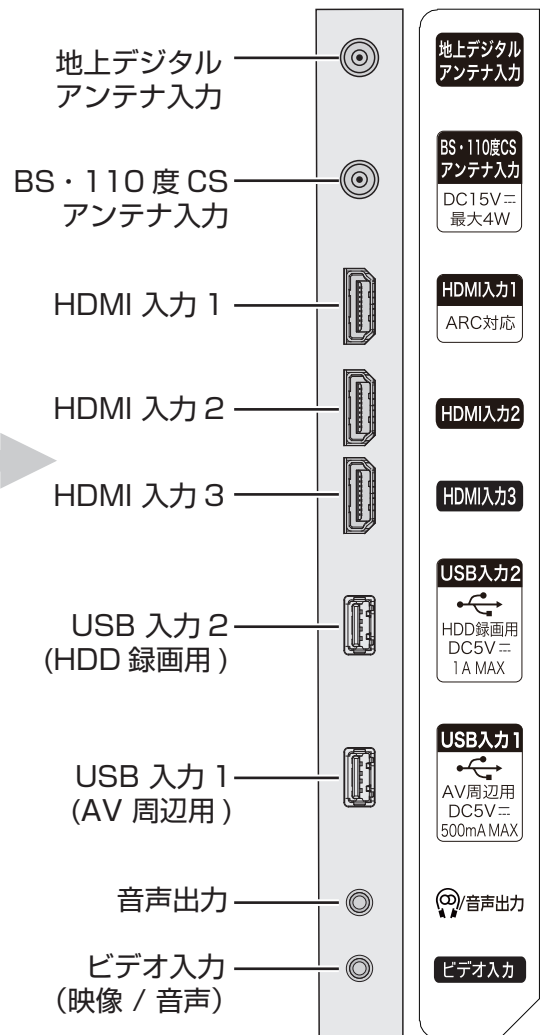
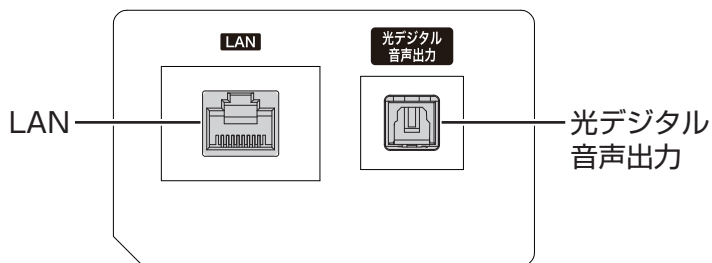
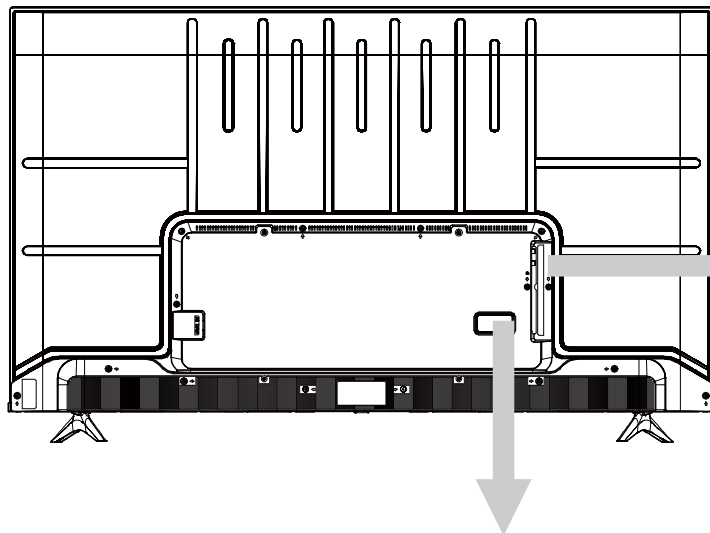
市販のAVケーブルと付属のビデオ入力用変換アダプターを使用して対応機器を接続します。

# 各部の名前 (つづき)

## 本体接続部

### ■ 65A65H

説明例：65A65H



#### 地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

#### BS・110度CSアンテナ入力

アンテナケーブルを使用してBS・110度CSアンテナを接続します。

#### HDMI 入力 1/HDMI 入力 2/HDMI 入力 3

市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。

#### USB 入力 1 (AV 周辺用)/USB 入力 2 (HDD 録画用)

市販のUSBハードディスクやUSB機器を接続します。

#### 音声出力

ヘッドホンや外部オーディオ機器などと接続します。

#### ビデオ入力 (映像 / 音声)

市販のAVケーブルと付属のビデオ入力用変換アダプターを使用して対応機器を接続します。

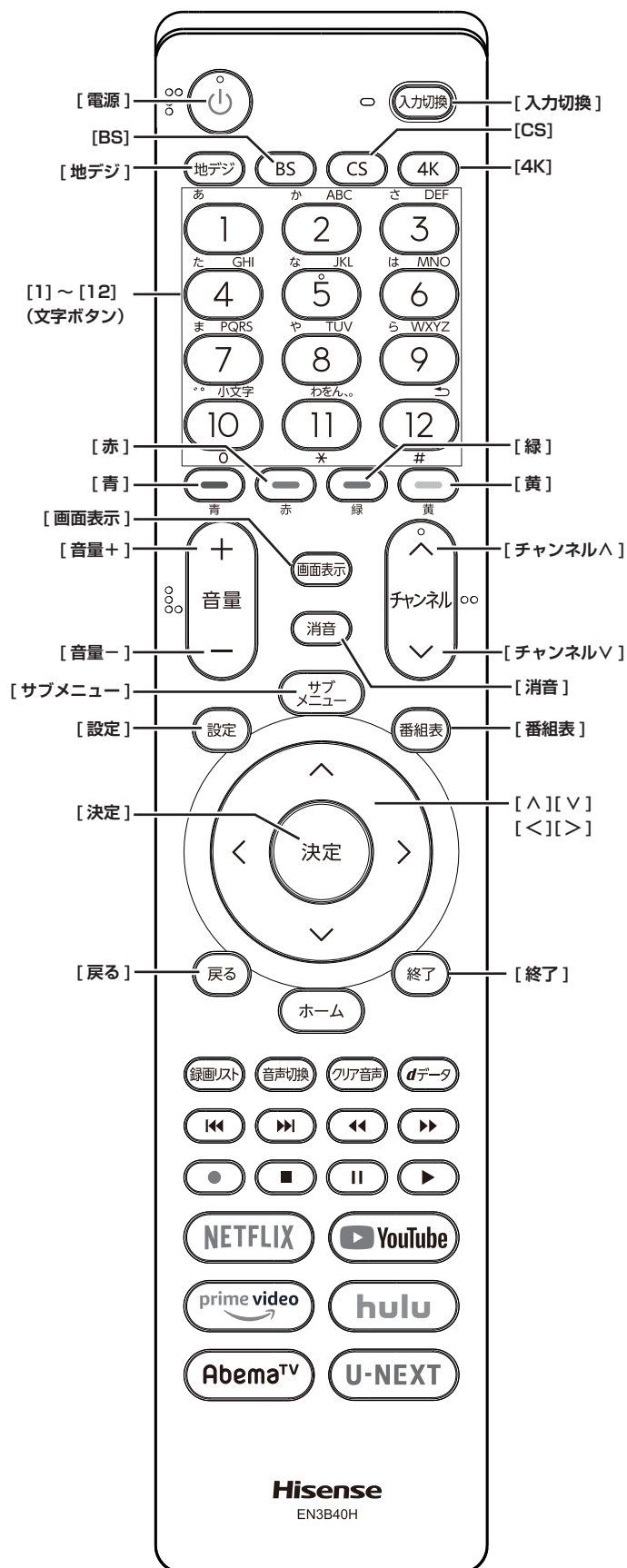
#### 光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

#### LAN

動画配信サービス、データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

# リモコン



## [電源]

待機と電源オンの切り換えを行います。

## [入力切換]

接続している外部機器の映像に切り換えます。

## [地デジ]

地上デジタル放送を受信します。

## [BS]

BS デジタル放送を受信します。

## [CS]

110 度 CS デジタル放送を受信します。

## [4K]

BS・110 度 CS の 4K 放送を受信します。

## [1] ~ [12] (文字ボタン)

チャンネルの直接選局などの数字入力や文字の入力に使用します。

## [青]/[赤]/[緑]/[黄]

デジタル放送受信中の双方向サービスでの項目選択や、メニュー中の操作選択をします。

## [音量+]/[音量-]

スピーカー (またはヘッドホン) の音量を調節します。

## [画面表示]

番組名や放送局名、放送時間などを見ます。

## [消音]

消音します。

## [サブメニュー]

サブメニューを表示します。予約リスト、メディアプレーヤーなどのモードに入るときに使用します。

## [チャンネル上]/[チャンネル下]

チャンネルの順送りによる選局を行います。

## [設定]

設定メニューを表示します。

## [戻る]

前の表示に戻ります。

## [上]/[下]/[左]/[右]

メニュー操作中などに、項目を選択します。

## [決定]

[上]/[下]/[左]/[右]での選択を確定します。

## [番組表]

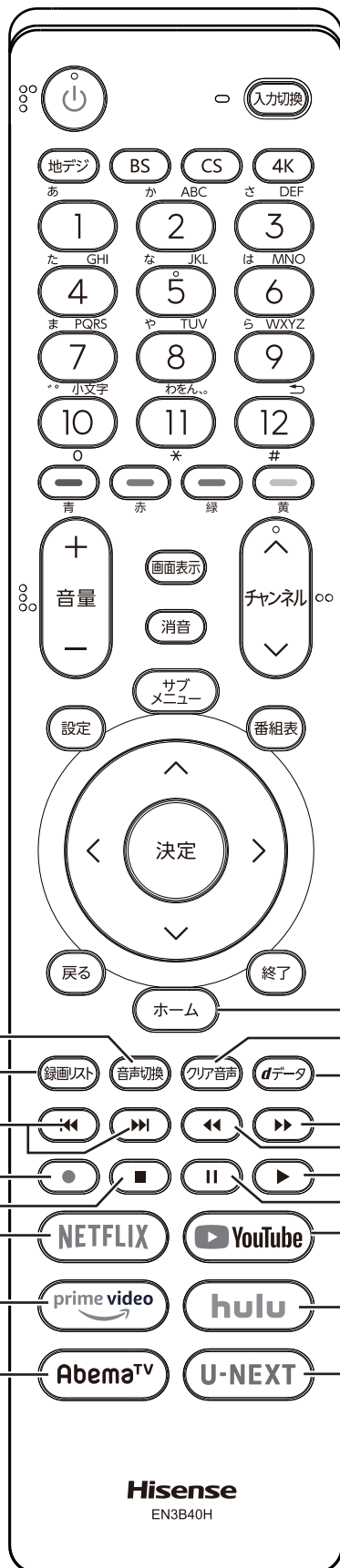
番組表の表示 / 非表示を行います。

## [終了]

操作を終了します。

# 各部の名前 (つづき)

## リモコン (つづき)



- [音声切換]
- [録画リスト]
- [スキップ]
- [録画]
- [停止]
- [NETFLIX]
- [prime video]
- [AbemaTV]
- [ホーム]
- [クリア音声]
- [dデータ]
- [サーチ (早戻し / 早送り)]
- [再生]
- [一時停止]
- [YouTube]
- [hulu]
- [U-NEXT]

### [ホーム]

ホーム画面を表示します。動画配信サービスなどが選択できます。

### [音声切換]

音声を切り換えます。

### [クリア音声]

人の声を聞き取りやすくするために使用します。

### [dデータ]

デジタル放送番組に連動したデータ放送画面に切り換えます。

### [NETFLIX]

Netflix を起動します。

### [YouTube]

YouTube を起動します。

### [prime video]

prime video を起動します。

### [hulu]

hulu を起動します。

### [AbemaTV]

AbemaTV を起動します。

### [U-NEXT]

U-NEXT を起動します。

以下のボタンは主に USB ハードディスク (市販品) 接続時に使用します。

### [録画]

現在見ている番組の録画をします。

### [停止]

録画や再生中の映像を停止します。

### [録画リスト]

録画した番組の一覧を表示します。

### [サーチ (早戻し / 早送り)]

再生中の場面を見ながら見たい場面を探します。

### [再生]

録画番組を再生します。

### [スキップ]



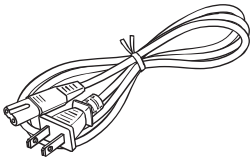
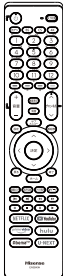
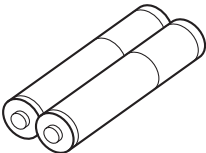
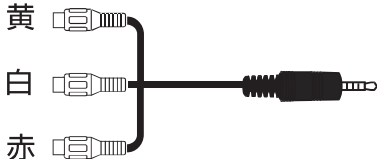
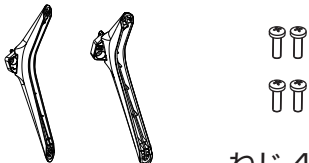
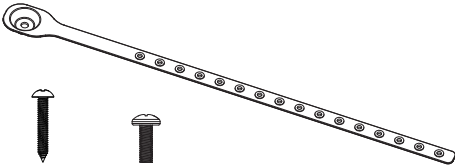
現在のチャプターの先頭、または次のチャプターの先頭から再生します。

### [一時停止]

再生中の映像を一時停止します。また放送中の画面を静止します。

# ● 付属品を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

 <p>取扱説明書 × 1 部</p>	 <p>保証書 × 1 部</p>	 <p>電源コード × 1 本</p>
 <p>赤外線リモコン (EN3B40H) × 1 台</p>	 <p>単四形乾電池 × 2 本 (リモコン用)</p>	 <p>ビデオ入力用変換アダプター (AV ケーブル接続用) × 1 本</p>
<p><b>スタンド 1 式</b></p>  <p>ねじ 4 個 M4 × 16mm (43A65H) M4 × 12mm (50A65H) M5 × 12mm (65A65H)</p>		 <p>(ねじ) ST4 × 25mm M6 × 12mm</p> <p>転倒防止ベルト × 1 式</p>

※ B-CAS カードは付属していません (ACASチップが搭載されています)。



## お知らせ

ACAS チップについて

- ACAS チップは、新しい CAS の方式です。本機には、この新 CAS のプログラムを書き込んだ「ACAS チップ」が搭載されています。ACAS チップには、これまでの B-CAS カードの機能も含まれています。
- ・ ACAS チップは、新 4K8K 衛星放送の受信機に搭載され、有料放送の視聴制御 (CAS) や、無料放送の著作権保護 (RMP) のために利用されています。
- ・ ACAS チップの番号を確認される場合は、「ACAS チップ情報」(機能操作ガイド 55 ページ) をご覧ください。



# ● リモコンについて

## 電池の入れ方

- ① 電池カバーを開ける
- ② + 極、- 極の向きを確認し、正しい方向で単四形乾電池の 1 本目を入れる
- ③ 続けて同様に 2 本目の電池を入れ、電池カバーがカチッというまで押して閉める

### ⚠️ ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした電池は使用しない。

漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### お知らせ

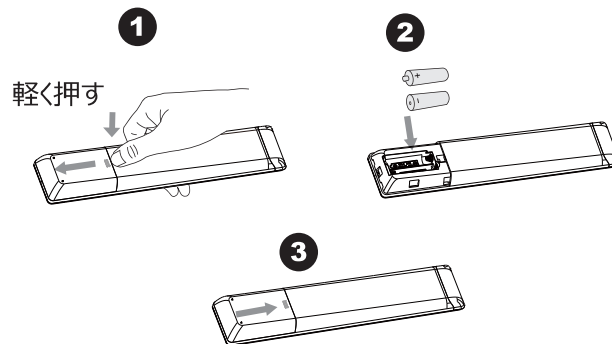
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

## 操作のしかた

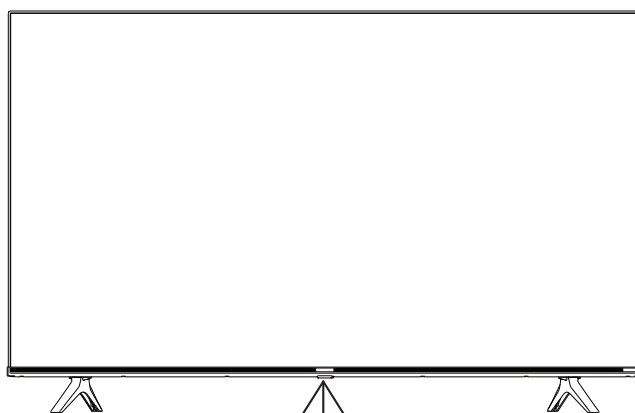
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

### ⚠️ ご注意

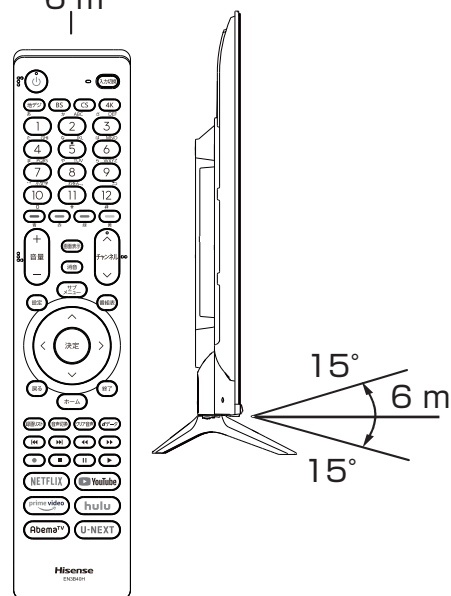
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを使用するときは、製品が見える場所から操作してください。



(正面)



(側面)





# ● デジタル放送について

本機では地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル、BS・110 度 CS 4K の放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のようなアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

## デジタル放送の特徴

### 高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送で見られるようなゴースト（映像の二重化）やスノーノイズ（雪が舞っているようなちらつき）といった映像の乱れが起こりません。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナログの通常放送と比較して走査線数（ブラウン管方式のテレビの映像の細密度を示す指数）で約 2 倍、解像度にして約 8 倍の高精細映像を楽しむことができます。音声についても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、高音質な音声を再現できます。

### データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情報などの独立したデータ放送の受信ができます。

### 番組表（EPG）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を表示することができます。

したがって、最初にご使用になるとき、あるいは電源コードを長期間（一週間以上）外していた場合などには表示されません。

### 双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の解答など、視聴者として番組に参加することができます。双方向通信をなさりたい場合は ADSL などのサービスを提供するプロバイダーとの契約が必要です。

### マルチ（複数）チャンネル

地上デジタル放送では、一つのチャンネルあたり、6MHz の帯域が与えられています。この帯域はさらに 430kHz ずつ、13 のセグメントとよばれる帯域に分割されています。この 13 のセグメントのうち、デジタルハイビジョン放送（HDTV）では、12 セグメントを使って放送されます。標準画質放送（SDTV）の場合は一つの番組では 4 セグメントしか使わないので、一度に 3 つの番組を放送することができます。

なお、本機は受信中の放送が HD か SD かを自動判別して映像を表示します。

### デジタル音声放送（デジタルラジオ）

従来のアナログラジオ放送（AM、FM、短波）とは異なり、音楽 CD 並みに高音質な音声のみの放送を楽しむことができます。地上デジタル音声放送（デジタルラジオ）には、本機は対応していません。

### 字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどを、文字で画面に表示させることができます。

### 文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報（文字スーパー）を画面に表示することができます。

### 緊急警報放送

地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合などに放送される警報放送です。災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的としています。

### マルチビューサービス

放送中の番組を、別のカメラから見た視点で見ることができます。

※上記のサービスや機能は、すべてのデジタル放送の種類や放送局、番組で行っているというものではありません。

### BS・110 度 CS の 4K/8K 放送

- 2018 年 12 月から放送開始しています。
- ・「BS・110 度 CS の 4K/8K 放送」の開始後も、現在の BS・110 度 CS および地上デジタル放送は引き続き提供されます。
- ・「BS・110 度 CS の 4K/8K 放送」は BS・110 度 CS 放送で従来から使用されている放送波（右旋円偏波の電波）と、新しい放送波（左旋円偏波の電波）で提供されます。

#### お知らせ

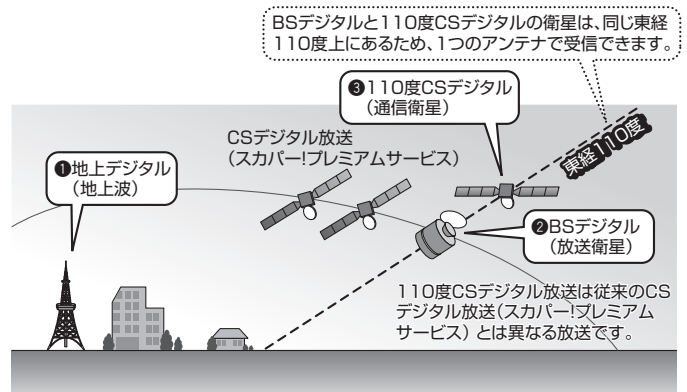
- 本機は 8K 放送には対応していません。

# デジタル放送について (つづき)

## 本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BS デジタル、110度CS デジタル、BS・110度CS 4Kの放送です。

上記を除くデジタルCS放送には対応しておりません。



## デジタル放送を視聴するための準備

### アンテナなどについて

デジタル放送を視聴するためには、受信用アンテナの用意をする必要があります。また、BS・110度CS デジタル放送を受信するには、放送局や放送事業者に受信申し込みをする必要があります。

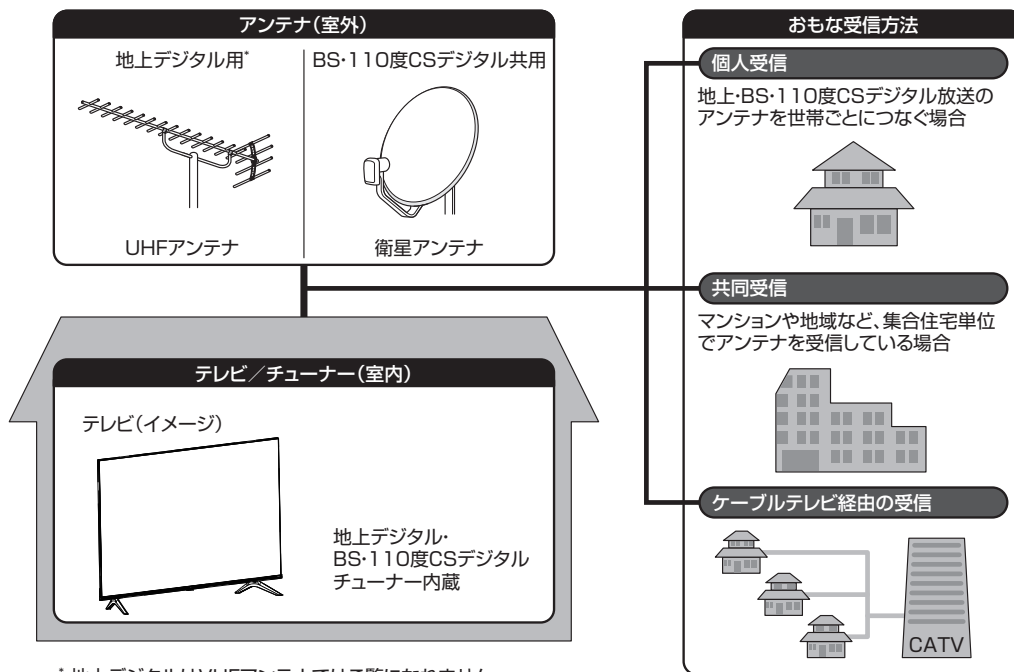
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によって異なります。詳しくはお買い上げ店などでご確認ください。

### ケーブルテレビをご利用の場合

本機はケーブルテレビのパススルー方式（同一周波数またはUHF帯域周波数変換）および帯域外周波数パススルーに対応しております。詳しくはご契約のケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

### お知らせ

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- 衛星放送用には BS・110度CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110度CS 帯域 (2,150MHz) まで対応しているものをご使用ください。また、新しい BS・110度CS アンテナ設備で、BS・110度CS の 4K 放送を視聴するときは、110度CS 帯域 (3,224MHz) まで対応しているもの (SH マーク機器) をご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。BS デジタル放送専用のアンテナでは 110度CS 放送は受信できません。



\* 地上デジタルはVHFアンテナではご覧になれません。

お住まいの環境に合わせてアンテナをご用意ください。

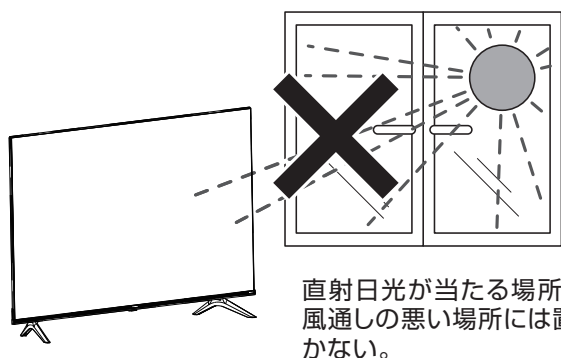
# ● 設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定した場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

## 設置の手順

### 1 置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。



### 2 スタンドを取りつける

#### ⚠️ ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、スタンドを外さないでください。

### 3 配置する

#### ⚠️ ご注意

- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

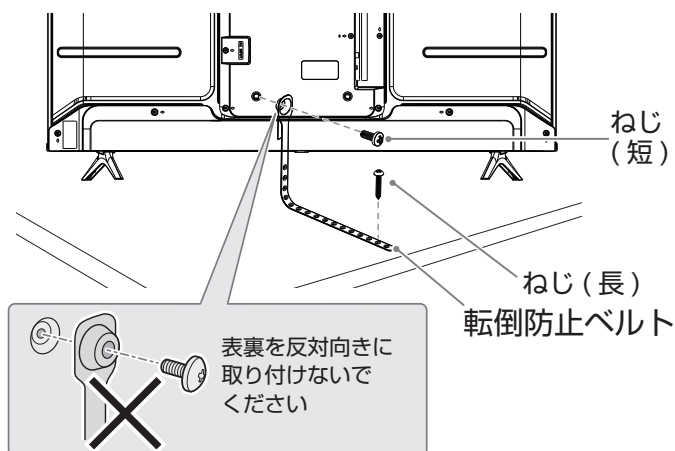
### 4 転倒防止策を実施する

- ベルトはへこんだ側が表になるように取り付けてください。
- ※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がはいれないようにしてください。

#### ⚠️ ご注意

- 本機が転倒するとお客様のけがや本機の故障につながります。必ず転倒防止策を行ってください。
- 下記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

- 1 転倒防止ベルトの太い部分を、テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴の一つに、付属のねじ（短）でしっかりと取り付ける。もう一方の輪の部分は設置する台の確実に支持できる天面に付属のねじ（長）で固定する。



## ● 設置のしかた (つづき)

### 壁に掛けるとき

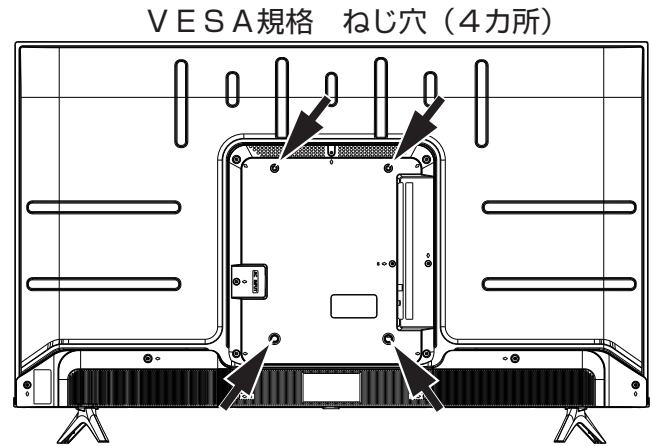
本機は市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることもできます。

テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴を使用します。

(☞ 43 ~ 45 ページ)

#### ⚠ ご注意

- 壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者に依頼ください。
- 本機を壁掛け金具に設置するときは、壁掛け金具の角度を 0° (垂直) にして取り付けてください。本機を壁掛けで使用するときは、角度を変更することはできません。



### スタンドを取りつける

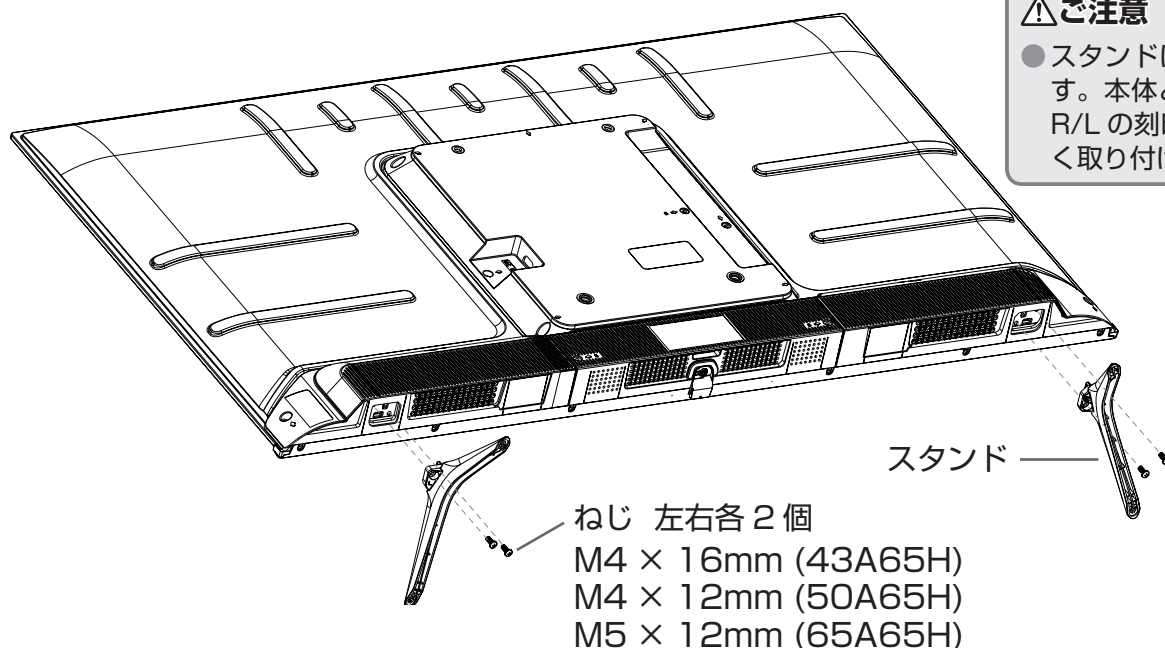
#### ⚠ ご注意

- 本機は必ず2人以上で運搬 / 移動 / 設置してください。
- 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。
- 取り付ける前に、プラスドライバー、本機のサイズより大きい毛布や保護シート、テーブルやテレビ台を準備してください。
- 取りつける際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。また、ネジをきつく締め過ぎないように注意してください。
- テーブルやテレビ台に置いたあと、がたつきや、転倒しないことを確認してください。
- 壁掛けの設置をする場合以外は、スタンドをはずさないでください。

※本体や液晶画面を傷つけないように、画面を下にして置いてください。

① スタンドと本機背面の溝の形状を合わせ、スタンドの4カ所を付属のねじ4個でしっかりと固定する

### ■ 43A65H/50A65H/65A65H



#### ⚠ ご注意

- スタンドには左右があります。本体とスタンドにある R/L の刻印を確認し、正しく取り付けてください。

# ● アンテナの接続

## △ ご注意

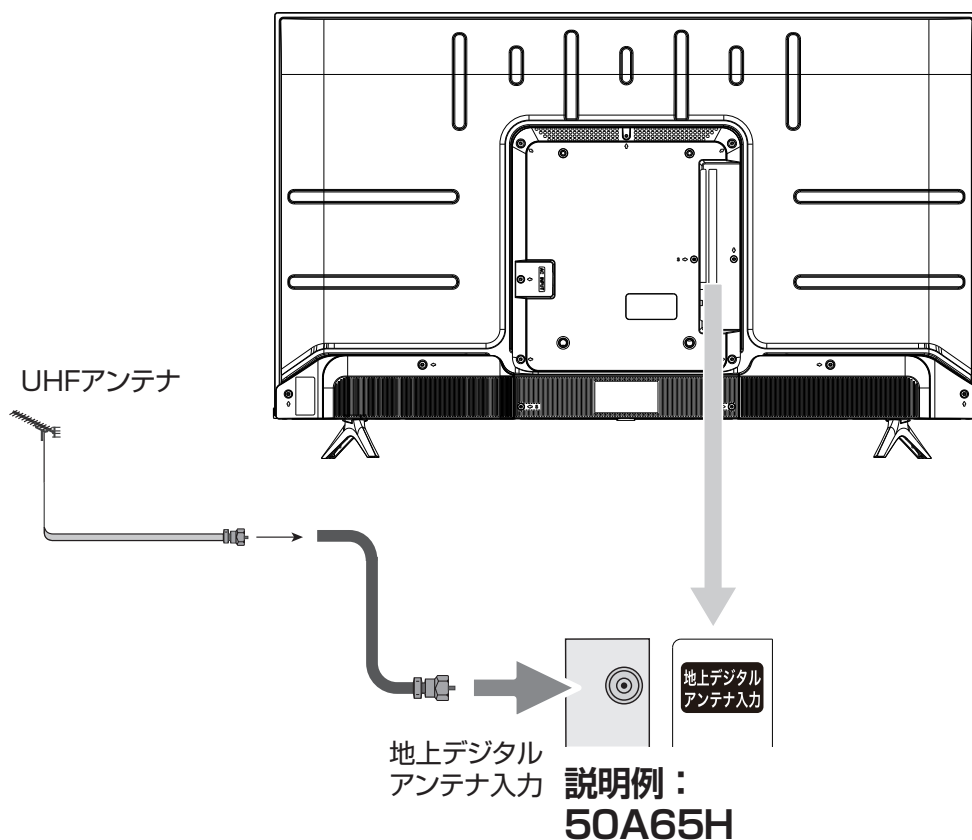
- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

## UHF アンテナを接続する

市販のアンテナケーブルを、地上デジタルアンテナ入力端子と UHF アンテナに直接接続します。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- アンテナをアンテナ入力端子に接続するときは、市販のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形同軸ケーブルに変換するため、市販のアンテナ整合器をお使いください。

- **[サブメニュー] → その他の操作 → アンテナレベル表示**を選択して、信号強度が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって信号強度は異なりますが、信号強度が推奨範囲内（30～65）になっているか、信号品質が推奨の数値以上（43）になっているかを確認してください。





# ● アンテナの接続 (つづき)

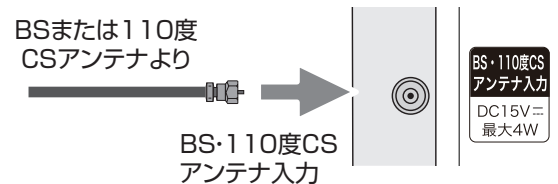
## BS・110度CS 共用アンテナを接続する

市販のアンテナケーブルを、BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子とBS・110度CS アンテナに直接接続します。

- アンテナはBS・110度CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線/ブースター/分配器などは、110度CS 帯域(2,150MHz) まで対応しているものをご使用ください。また、新しいBS・110度CS アンテナ設備で、BS・110度CS の4K 放送を視聴するときは、110度CS 帯域(3,224MHz) まで対応しているもの(SHマーク機器)をご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていたBSアンテナでも、性能や方向調整が十分な場合はBSデジタル放送を受信できますが、110度CS デジタル放送の受信にはBS・110度CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー！プレミアム専用のアンテナでは110度CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110度CS 共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CS デジタルアンテナ入力端子にVHF/UHFのアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- **[サブメニュー] → その他の操作 → アンテナレベル表示**を選択して、信号強度が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。信号強度が推奨範囲内(30～65)になっているか、信号品質が推奨の数値以上(BS:36/110度CS:28/BS・110度CSの4K:50)になっているかを確認してください。
- **[設定]** を押して、**放送受信設定→BS・110度CS アンテナ設定→衛星アンテナ電源供給** (機能操作ガイド55ページ) で**衛星アンテナ電源供給をオートまたはする**に設定してください。

- 家庭用分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、1端子電流通過型を必ずお使いください。この場合、本機か他のBS機器か、電流通過する端子に接続した機器のアンテナ電源の供給を**オート**または**する**に設定してください。また、本機の電源を「待機」・オフ状態にしたときはアンテナ電源は供給されません。他のBS機器を本機がオフまたは「待機」のときに使う場合は、当該機器より電源を供給してください。

### 説明例： 50A65H

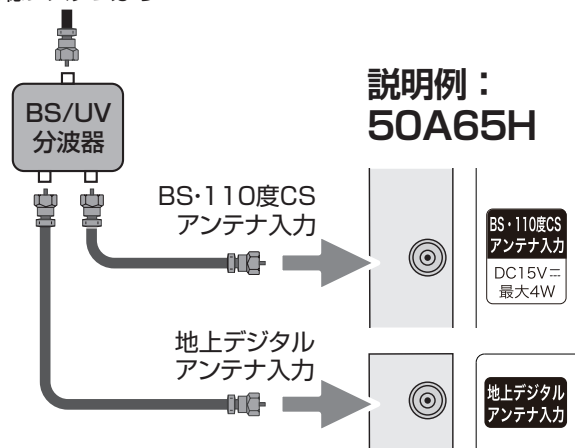


## マンションなどの共聴システムで接続する

お住まいのマンションなどが、地上デジタルやBS・110度CS デジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社にご確認ください。BS・110度CS とVHF/UHF が混在されている場合は、市販のBS/UV分波器を使用して接続します。分波器は110度CS 帯域(2,150MHz) まで対応している金属シールドタイプをお選びください。また、新しいBS・110度CS アンテナ設備で、BS・110度CS の4K 放送を視聴するときは、110度CS 帯域(3,224MHz) まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

- **[設定]** を押して、**放送受信設定→BS・110度CS アンテナ設定→衛星アンテナ電源供給** (機能操作ガイド55ページ) でアンテナ電源の設定を**しない**に設定してください。

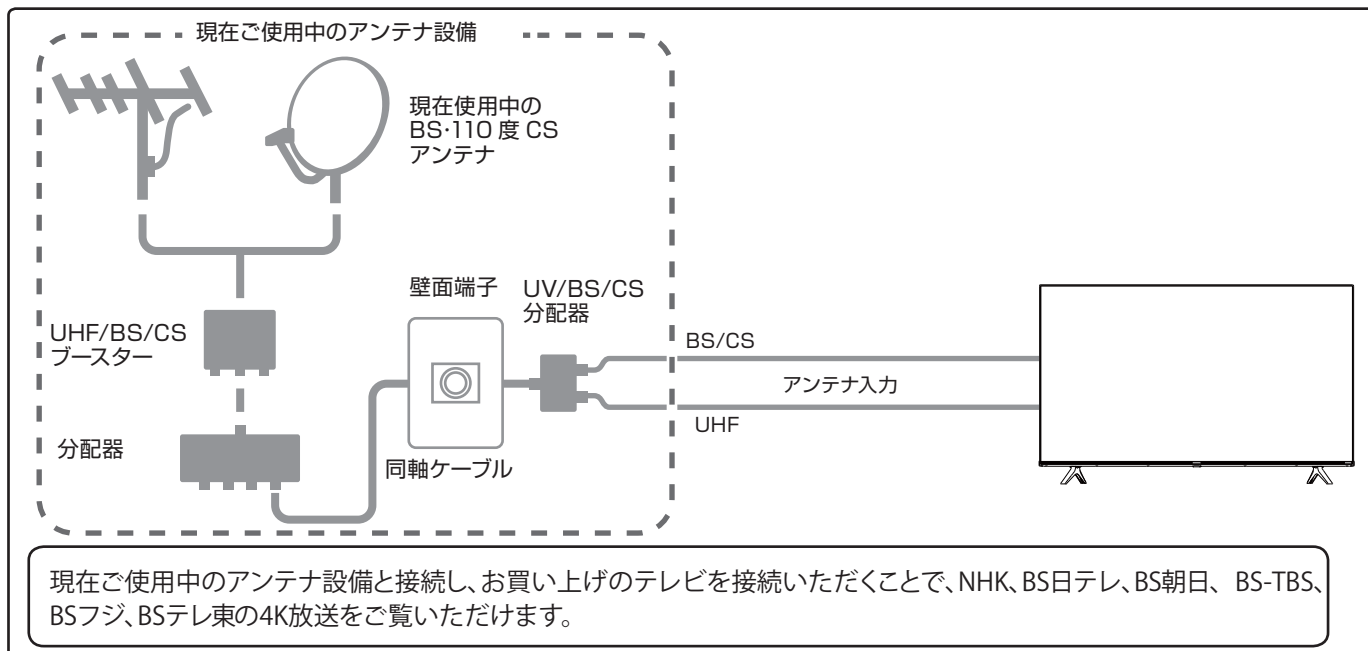
共聴システムより



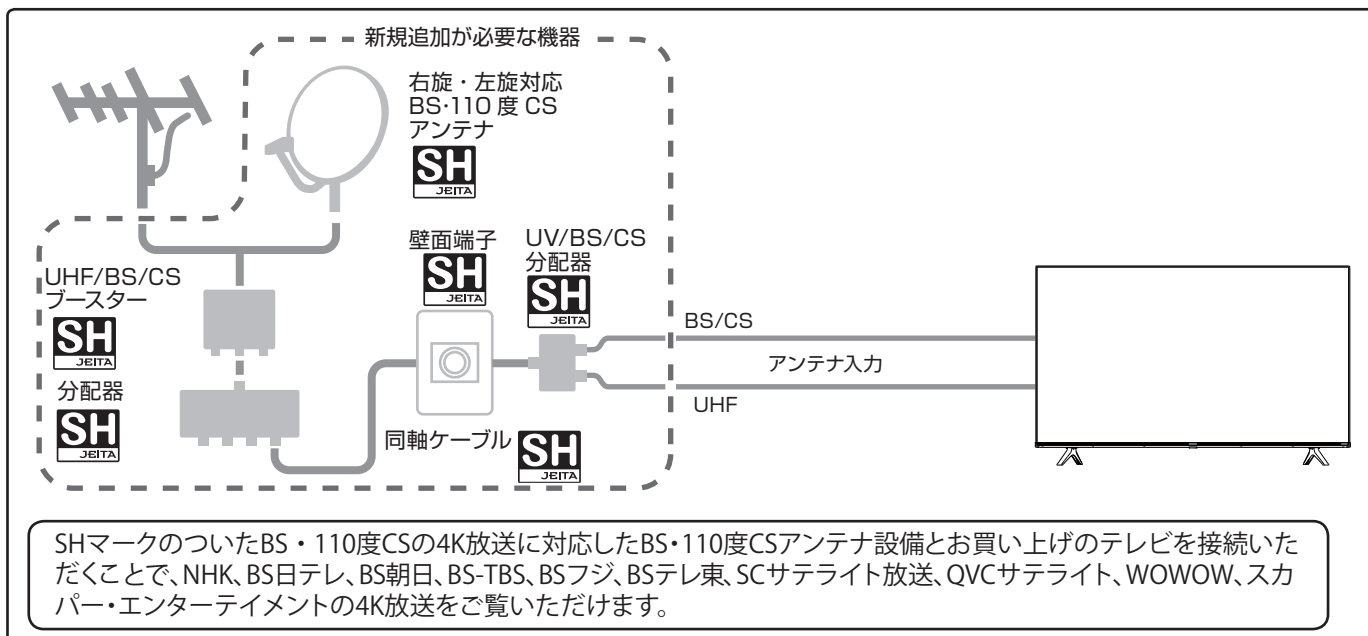
### 説明例： 50A65H

## BS・110度CSの4K放送を視聴する場合

### 現在ご使用のBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき



### 新しいBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき



#### BS・110度CSの4K放送に関するお問い合わせ

- BS・110度CSの4K放送に関するお問い合わせは下記のホームページをご参照ください。  
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 <http://www.apab.or.jp/4k-8k/>

#### ご注意

- 上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

# ● LAN への接続

光回線などのブロードバンド回線に接続して、動画配信サービス（別途会員登録・契約が必要な場合があります。）を利用したり、データ放送の双方向サービスを利用することができます。双方向サービスを使用すると、ご家庭からテレビ局に向けてクイズ番組の回答やアンケートなどの情報を送ることができます。

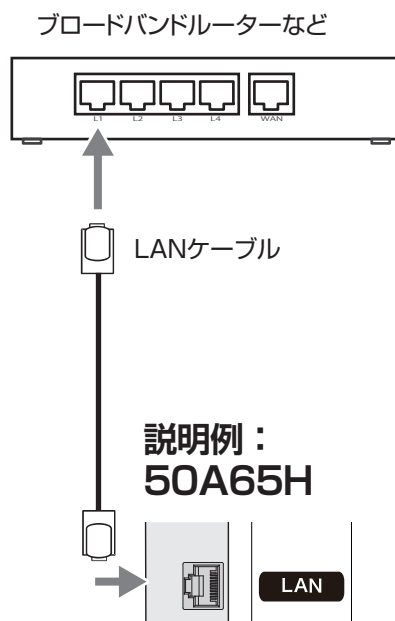
本機では、動画配信サービス「YouTube（ユーチューブ）」、「Netflix（ネットフリックス）」などに対応しています。

## お知らせ

- 動画配信サービスや双方向サービスを利用しない場合、LAN への接続は必要ありません。
- 動画配信サービスや双方向サービスを利用するには、光回線や ADSL などのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンやスマートフォンがインターネットに接続されているなど、ブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- USB 接続の ADSL モデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。

## 有線 LAN で接続する

- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、LAN ポートの一つと本機の LAN 端子を接続してください。LAN ポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- 本機の電源を初めて入れると、「はじめての設定」の画面が表示されます。有線 LAN の設定をはじめ、テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。  
(☞ 36 ページ)
- [設定] を押して、**初期設定→かんたんネットワーク設定**からも設定することができます。  
(☞ 機能操作ガイド 56 ページ)

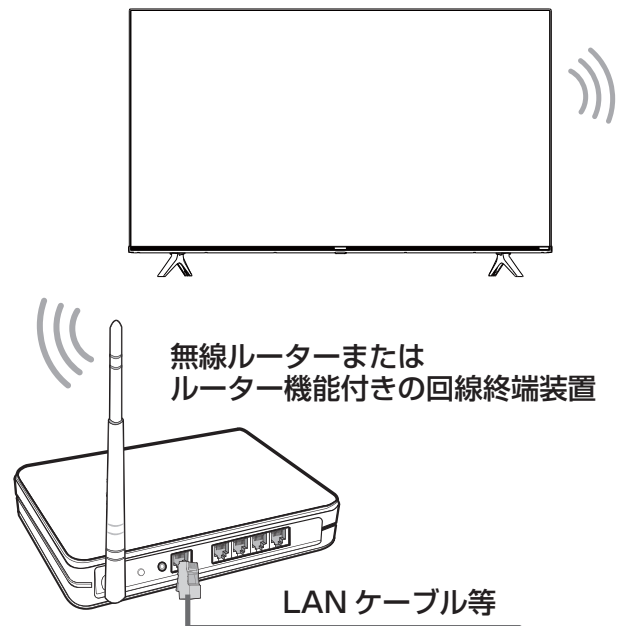




## 無線 LAN で接続する

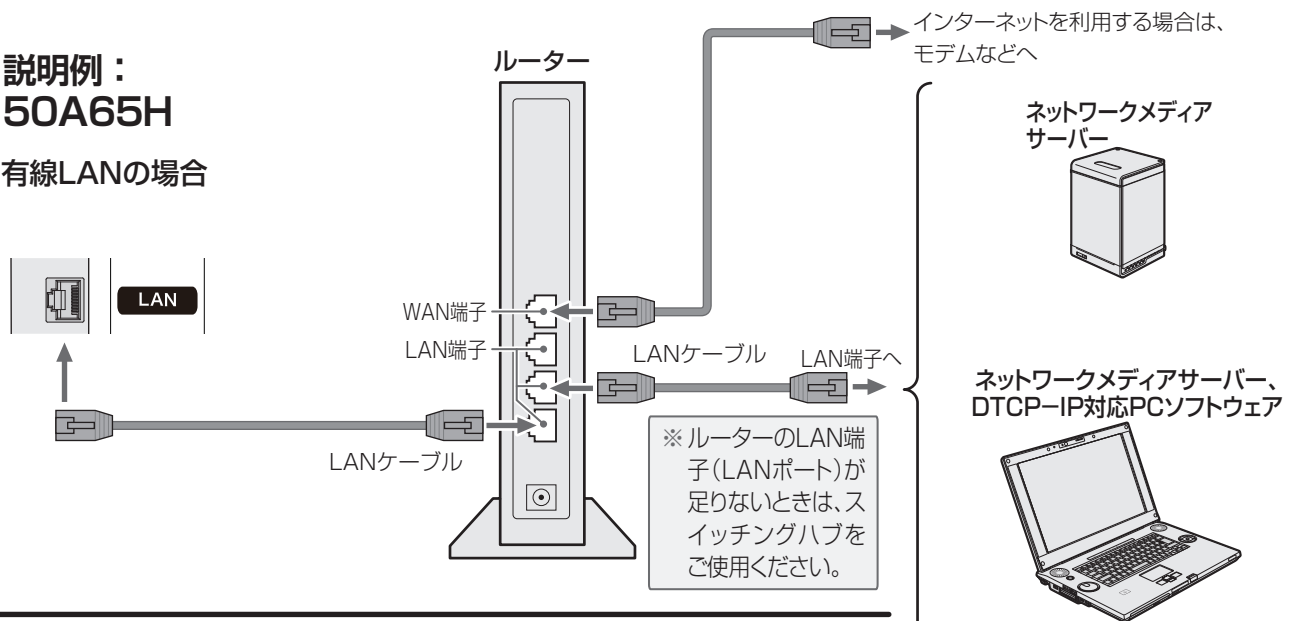
本機は無線 LAN モジュールを内蔵していますので、ご家庭に無線 LAN 環境があれば、本機の設置場所に関係なく LAN 接続することができます。

- 本機の電源を初めて入れると、「はじめての設定」の画面が表示されます。無線 LAN の設定をはじめ、テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。
- [設定] を押して、ネットワーク・サービス設定→ネットワーク接続設定→かんたんネットワーク設定から設定することができます。  
(☞機能操作ガイド 56 ページ)

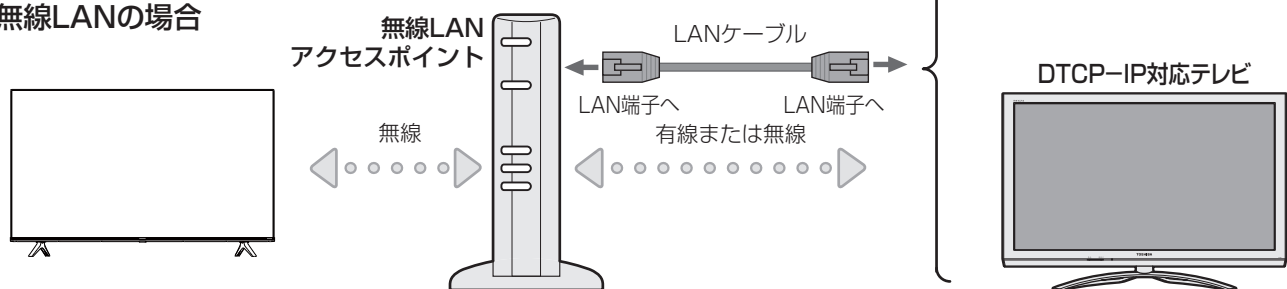


## ホームネットワークの接続をする

説明例：  
50A65H  
有線LANの場合



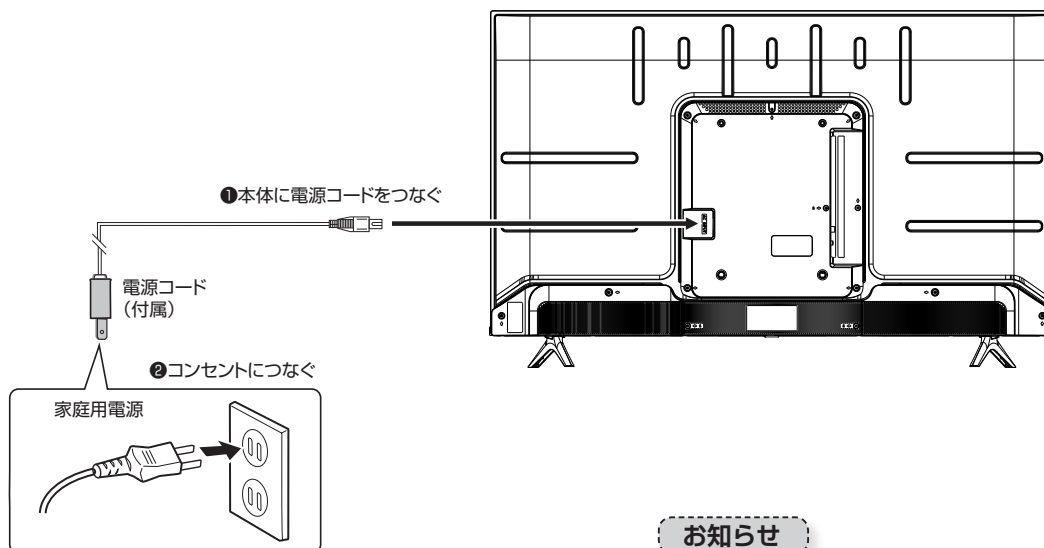
無線LANの場合



# ● 電源コードの接続

## 接続する

- ① 電源コードを本機背面の AC INPUT 端子にしっかりと接続する
- ② 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む

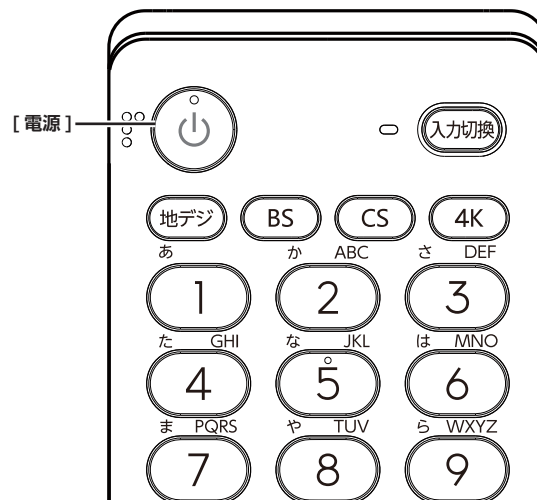


### お知らせ

- 電源プラグは、長時間で使用にならないとき、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。電源プラグを抜いたままにしておくと、デジタル放送の番組情報が取得できません。(機能操作ガイド 8 ページ) また予約した番組の録画ができません。(機能操作ガイド 18 ページ)

## 電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定などが無効になってしまふことがあります。またハードディスクが故障するおそれがあります。まずリモコンの [電源] を押して電源を「待機」(赤ランプ点灯) にし、そのおよそ 5 秒後に本体の電源ボタンで電源「切」(赤ランプ消灯) にし、その後で電源プラグを抜いてください。



# ● 他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しんだり、本機で受信した番組を他の機器（市販品）に録画することができます。

## ⚠️ ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## USB ハードディスクを接続する

市販のUSB ハードディスクを USB 入力端子 (HDD 録画用) に接続することができます。

### お知らせ

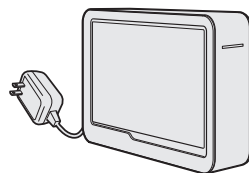
- USB ハードディスクは本機との相性で使用できない場合があります。
- 本体側面の USB 端子に USB バスパワー方式の機器を接続して同時に使用すると、USB ハードディスクでの録画動作に障害を与えることがあります。

- USB ハードディスクや USB ハブは専用の AC アダプターを接続してご使用ください。
- 複数台の USB ハブを経由して本機に USB ハードディスクを接続することはできません。

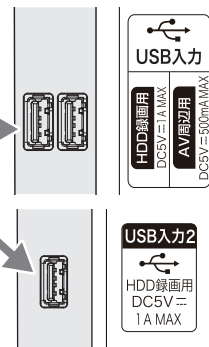
## USB ハードディスクが 1 台のとき

USB ハードディスクは、本機の USB 入力端子 (HDD 録画用) に接続します。

USBハードディスク



USBケーブル  
(機器の付属品など)

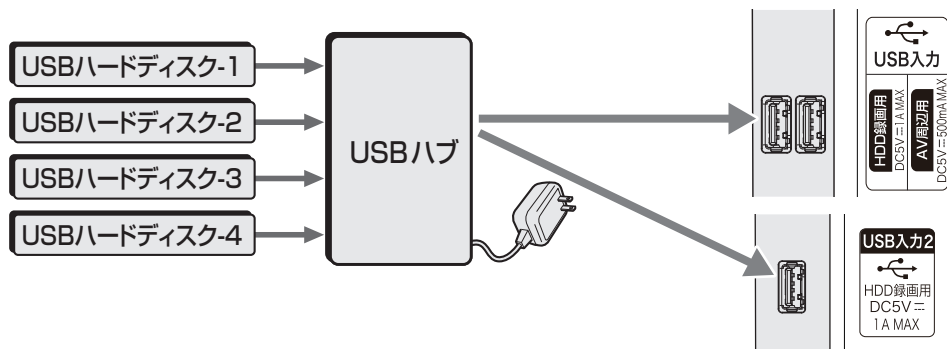


説明例：  
50A65H

説明例：  
65A65H

## USB ハードディスクが 4 台のとき

- USB ハブを使用すれば、複数の USB ハードディスクを接続することができます。
- 8 台までの USB ハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは 4 台までです。



説明例：  
50A65H

説明例：  
65A65H

## ● 他の機器との接続 (つづき)

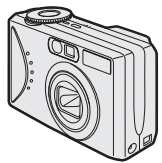
### USB 機器を接続する

市販の USB 機器を USB 入力端子に接続することができます。

#### お知らせ

- USB 機器は本機との相性で使用できない場合があります。
- USB ハブを使って本機の USB 端子に接続した場合に認識できる USB ハブは二つで機器数は最大 7 台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1 スロットで 1 台とみなされます。なお、USB ハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

メモリーカードリーダー



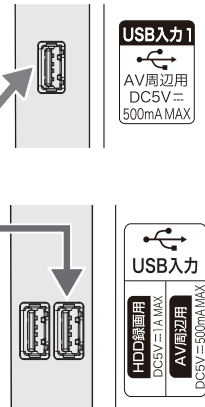
デジタルカメラ

USB端子へ

USBケーブル  
(USB機器の付属品など)

USBメモリー

向きを確認して差し込んでください。



説明例：  
65A65H

説明例：  
50A65H

### ヘッドホンやアナログ音声入力端子付のオーディオ機器を接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。[音量+] / [音量-] で音量を調整します。またアナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。

#### お知らせ

- ヘッドホンを接続するとき、本機のスピーカーから、音を出すか出さないかの設定ができます。  
(機能操作ガイド 51 ページ)

説明例：  
50A65H



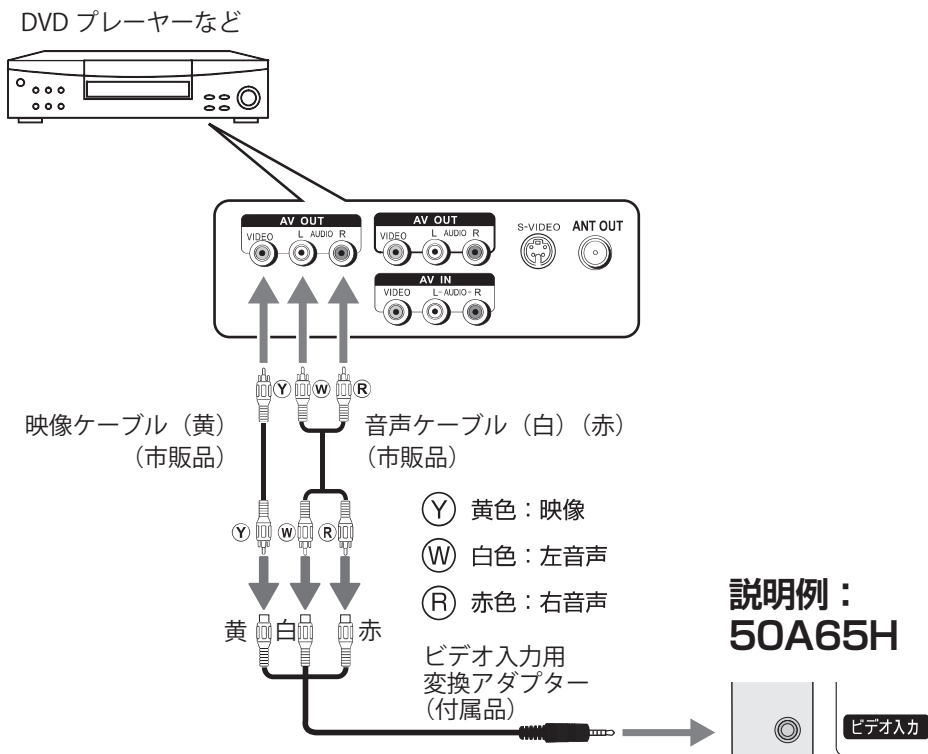
#### ⚠️ ご注意

- 大きな音量設定でヘッドホンプラグを抜くと、スピーカーから大きな音が出ます。音量を下げてから、ヘッドホンプラグを抜くようにしてください。
- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするよう場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

## DVD プレーヤーなどを接続する

### ビデオ入力端子に接続する

市販の映像、音声ケーブルと付属のビデオ入力用変換アダプターで、DVD プレーヤーなどの AV 出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。黄色のプラグをビデオ入力用変換アダプターの黄色に、赤と白のプラグをビデオ入力用変換アダプターの赤と白に、プラグとビデオ入力用変換アダプターの色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。



## ● 他の機器との接続 (つづき)

### HDMI 出力のある機器に接続する

#### HDMI 入力端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、ブルーレイレコーダー、デジタルチューナー、パソコンなどの HDMI 出力と本機の HDMI 入力端子 1～HDMI 入力端子 3 のいずれかをつないでください。HDMI ケーブルはデジタル信号で映像と音声を 1 本で接続します。

#### ●パソコンと HDMI ケーブルで接続する

HDMI ケーブルでパソコンの HDMI 出力と、本機の HDMI 入力端子を接続します。対応フォーマットは下記の通りです。

解像度	信号名
640 × 480@60Hz	VGA
800 × 600@60Hz	SVGA
1024 × 768@60Hz	XGA
1280 × 768@60Hz	WXGA
1360 × 768@60Hz	WXGA
1280 × 1024@60Hz	SXGA
1920 × 1080@24Hz	Full HD
1920 × 1080@30Hz	
1920 × 1080@60Hz	
3840 × 2160@24Hz	4K
3840 × 2160@30Hz	
3840 × 2160@60Hz	
4096 × 2160@24Hz	
4096 × 2160@30Hz	

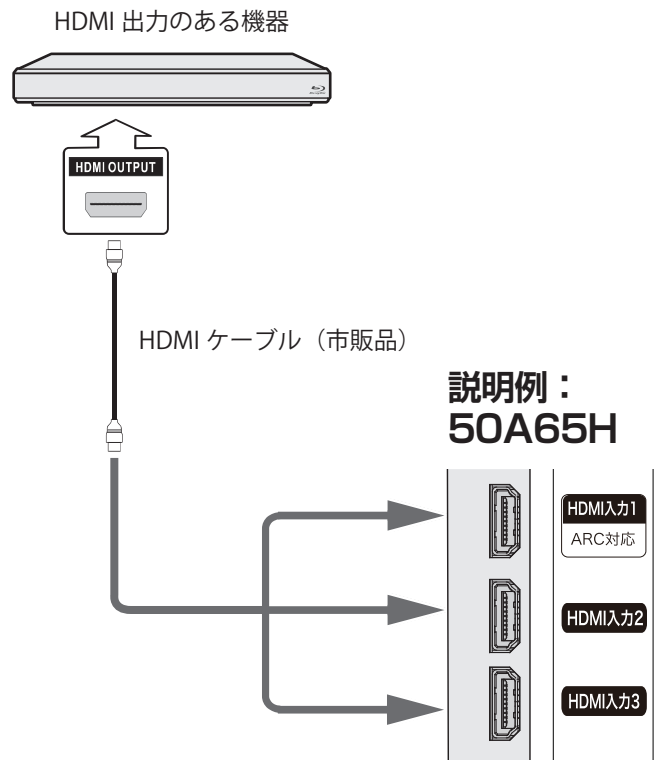
パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

#### お知らせ

- すべてのパソコンでの動作検証は行っていません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。
- 必要に応じて画面サイズを設定してください。(機能操作ガイド 61 ページ)

#### お知らせ

- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証していません。
- 映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

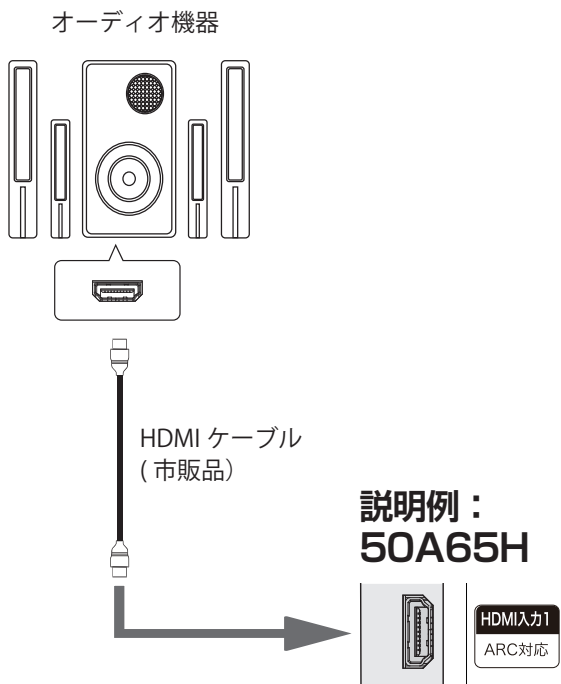


## HDMI 出力のある機器に接続する (つづき)

### HDMI 入力端子に接続する (ARC)

HDMI 入力 1 は ARC (オーディオリターンチャンネル、Audio Return Channel) に対応しています。ARC 対応の AV アンプやオーディオ機器と HDMI ケーブルで接続することにより、HDMI ケーブル経由でデジタル音声を出力することができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を選ぶことができます。

「デジタル音声出力」(機能操作ガイド 51 ページ)



- HDMI 連動対応のオーディオ機器を本機に HDMI ケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。
- オーディオ機器の HDMI 入力端子に HDMI 連動機器を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作ガイド 51 ページ) の設定をします。また、必要に応じて「HDMI 連動設定」(機能操作ガイド 59 ページ) をしてください。
- ARC 対応のオーディオ機器は HDMI 入力 1 (ARC) 端子に接続してください。

#### お知らせ

- 本機にオーディオ機器が接続されている場合のみ、ARC 機能が動作します。



## ● 他の機器との接続 (つづき)

### 光デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルで AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AV アンプなどから音声を出力し、5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を選ぶことができます。

(☞機能操作ガイド 51 ページ)

#### ●ミニコンポなどのオーディオ機器に接続するとき

- 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器側で音量を調節してご使用ください。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(☞機能操作ガイド 51 ページ) の設定をします。

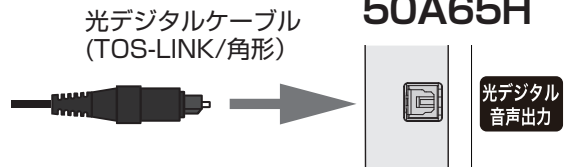
#### ●サンプリングレートコンバーター内蔵の MD レコーダーや DAT に接続するとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 「デジタル音声出力」(☞機能操作ガイド 51 ページ) を「PCM」に設定します。

#### ●MPEG-2 AAC デコーダーに接続するとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 「デジタル音声出力」(☞機能操作ガイド 51 ページ) を「デジタルスルー」に設定します。

#### 説明例： 50A65H



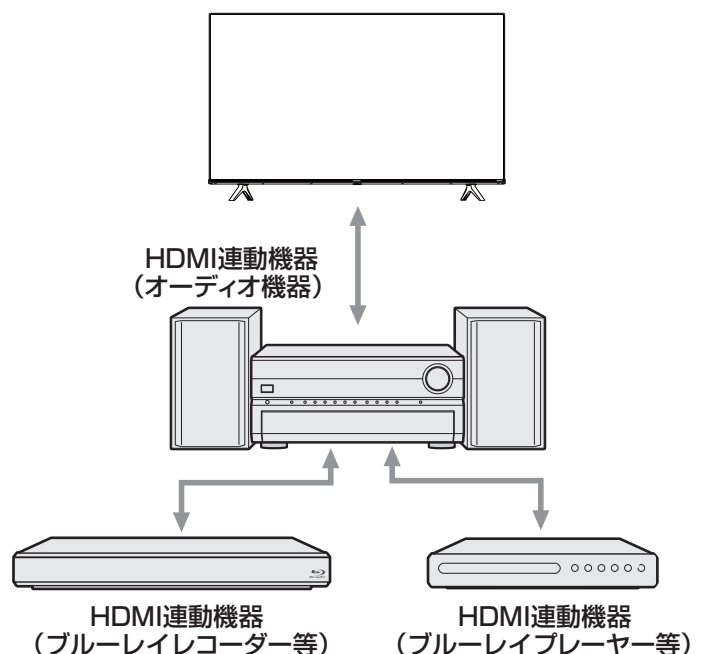
### HDMI 連動 (CEC) 対応機器と接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、HDMI 連動 (CEC) 対応機器 (AV アンプ、ブルーレイレコーダーなど) を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。

(☞機能操作ガイド 59 ページ)

#### お知らせ

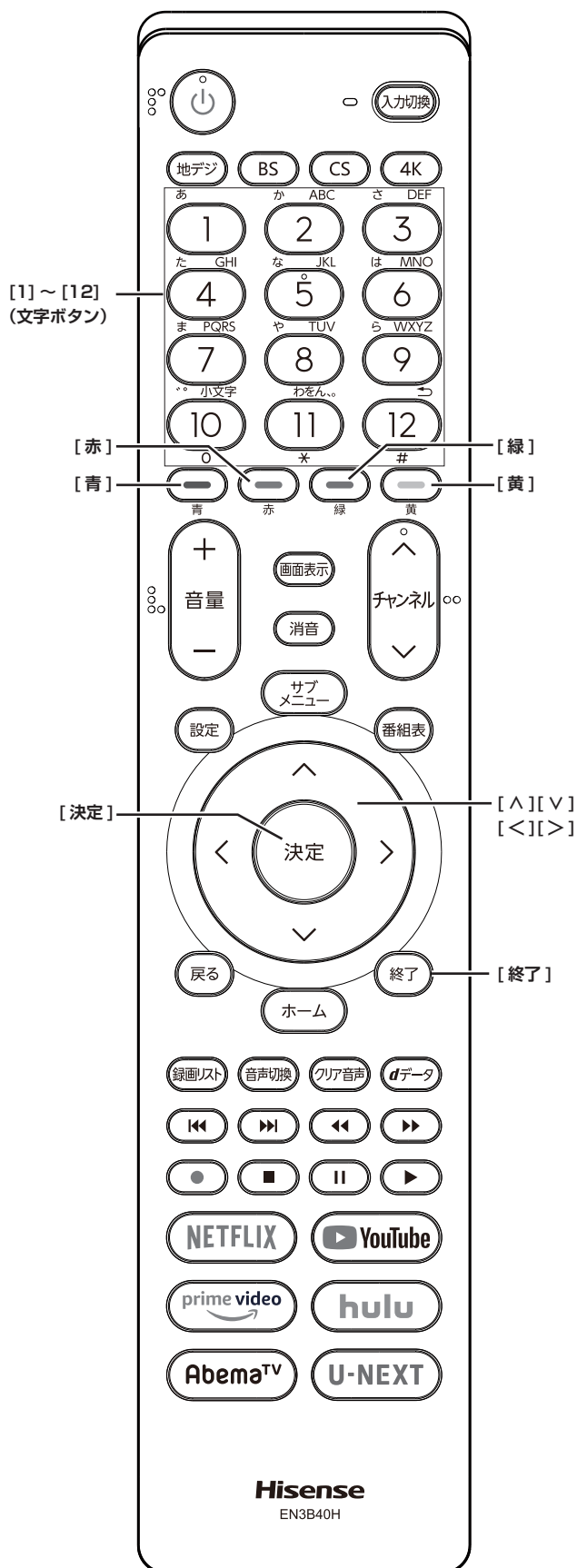
- HDMI 連動 (CEC) に対応した、AV アンプとブルーレイレコーダー等を同時に使用する場合は、本機とレコーダーの間に AV アンプを接続してください。またブルーレイレコーダー等の再生時に、映像より音声が進んで聞こえる場合は、AV アンプの音声遅延設定で調整してください。
- HDMI 連動 (CEC) 対応機器を使用するには、HDMI 連動設定が必要です。(☞機能操作ガイド 59 ページ) また接続する AV アンプやブルーレイレコーダー等での設定も必要です。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。





# ● 「はじめての設定」 をする

本機の電源を初めて入れると、「はじめての設定」の画面が表示されます。テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。



## 接続確認をする

- アンテナ線の接続を確認する
- 内容をよくお読みになり、**次へ進む**を選ぶ

## 設置場所を選択する

- テレビをお使いになる場所を [ < ] / [ > ] で選び、[ 決定 ] を押す。  
ご家庭でお使いの場合は、「ご家庭」を選んでください。「店頭」を選ぶと、店頭展示用の設定になります。

## 1 地域設定

- 1 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] を押して、お住まいの地域を選択して、[ 決定 ] を押す
- 2 [ ^ ] / [ v ] / [ < ] / [ > ] を押して、お住まいの都道府県を選択して、[ 決定 ] を押す
- 3 お住まいの郵便番号 (7桁) を入力して、[ 決定 ] を押す  
[ 10 ] は「0 (ゼロ)」として使用します。

## 2 地デジ設定

- 1 画面の文章をお読みいただき、[ < ] / [ > ] を押し、**はい**を選択して、[ 決定 ] を押す  
お住まいの地域で地上デジタル放送が運用されていない場合は、**いいえ**を選んで手順 3 の **BS・110度 CS アンテナレベル確認**に進みます。(わからない場合は、**はい**を選びます)
- 2 地上デジタルチャンネルの設定内容を確認して、[ 決定 ] を押す

## 3 BS・110度 CS アンテナレベル確認

- アンテナの受信状態を確認して、[ 決定 ] を押す

## 4 映像メニュー設定

- [ ^ ] / [ v ] を押して、お好みの映像メニューを選び、[ 決定 ] を押す

# 「はじめての設定」をする (つづき)

## 5 ネットワーク設定

1 画面の文章をお読みいただき、ネットワーク設定をする場合は、**はい**を選択して**[決定]**を押す

●本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

●**いいえ**を選んだ場合、**はじめての設定**が完了します。

2 無線 LAN または有線 LAN の設定をする

### 無線 LAN の設定

無線 LAN を選択して、**[決定]**を押す

#### ■ アクセスポイント選択

本機が使用可能な無線 LAN アクセスポイント（ルーター）を検出して接続します。

①接続可能な無線 LAN アクセスポイント（ルーター）から、本機の接続先を選び、**[決定]**を押す

②①で選択した無線 LAN アクセスポイント（ルーター）の暗号キーを**[1]**～**[12]**を使用して入力する

・**[青]**を押すと、入力文字の種類を切り換えることができます。

・**[赤]**を押すと、1文字削除します。

（「文字の入力のしかた」 37 ページ）

③**設定完了**を選択して、**[決定]**を押す

#### ■ プッシュボタン接続

使用可能な無線 LAN アクセスポイント（ルーター）を本機が検出して接続します。

①**[緑]**を押す

②無線 LAN アクセスポイント（ルーター）の接続ボタンを押す

接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③設定内容を確認して、**[決定]**を押す

#### ■ PIN コード接続

①**[黄]**を押す

②画面の指示に従い、表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイント（ルーター）にパソコンで設定する

③表示された接続可能なアクセスポイント（ルーター）から、本機の接続先を選び、**[決定]**を押す

④設定内容を確認して、**[決定]**を押す

### 有線 LAN の設定

有線 LAN を選択して、**[決定]**を押す

3 接続テストをする場合は**はい**を選び、**[決定]**を押す


●接続テストをしない場合、**いいえ**を選ぶと、「はじめての設定」は完了します。

●「インターネットに接続できませんでした。」と表示された場合、有線 LAN 設定のときは、LAN ケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。無線 LAN 設定のときは、無線 LAN の設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

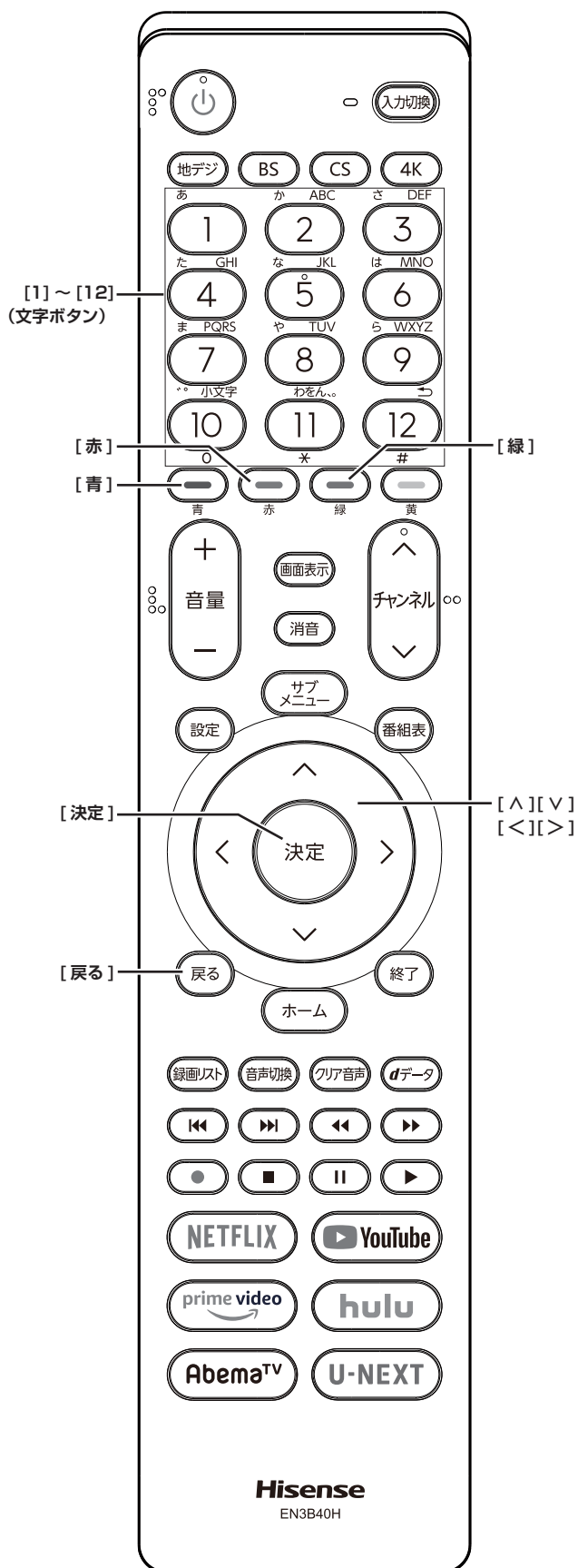
4 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、**[決定]**を押す

5 設定完了画面が表示されたら、内容を確認して**[決定]**を押し、はじめての設定を完了する

## 「はじめての設定」をやり直すとき

**[設定]**を押して、**初期設定**→**はじめての設定**からやり直すことができます。（機能操作ガイド 56 ページ）

# ● 文字の入力のしかた



- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。
- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

## 1 [1] ~ [12] で文字を入力する

- ・ 文字に続けて [10] を押せば、濁点(°)や半濁点(°)の入力および小文字変換ができます。
- ・ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に [ > ] を押します。
- ・ [青] (文字切替) を押すと、入力文字の種類を変えることができます。
- ・ 文字を挿入するには、挿入する場所を [ ^ ]/[ v ]/[ < ]/[ > ] で選んで入力します。
- ・ [緑] を押すと、スペースを入れることができます。
- ・ [赤] を押すと、1文字削除します。続けて押すと文字をまとめて削除することができます。

## 2 漢字変換しないときは [決定] を押す

- ・ 漢字に変換するときは、[ v ] を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら [決定] を押す

### お知らせ

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が **全角記号**、**半角記号** のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。
- 確定せずに変換できるのは 4 文節までです。4 文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に [戻る] を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

# ● 故障かな？と思ったら

## お問い合わせの前に

### まず、以下の点をご確認ください

- ・アンテナ線や電源コード、その他の接続
- ・入力切換の設定

### 以下の状態は故障ではありません

#### 本機内部からの動作音

電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。

「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

#### ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

#### 豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

#### 使用していないのに温まる

使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

### リモコンを操作しても反応しないことがある

システムの準備が完了していない場合、リモコン操作が遅れることがあります。

しばらく待って再度操作してください。

### テレビが操作できなくなったとき →テレビをリセットする

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 1分以上待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

### 本体の電源ボタンを長押ししてリセットする

- 1 テレビ本体の電源ボタンを4秒以上押し続ける
- 2 本体下面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、取扱説明書・機能操作ガイドの「原因と解決法」及び「エラーメッセージが表示されたとき」から解決法をお調べください。

# ● 主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

形名		43A65H	50A65H
サイズ		43V 型	50V 型
電源		内蔵 AC100V, 50/60Hz	
消費電力 *1		120W	130W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.5W	
年間消費電力 *2		131kWh	162kWh
区分名		c	c
液晶機能	画面寸法	941mm × 529mm	1095mm × 616mm
	バックライト	直下型 LED (D_LED)	
	画素数	3840 × 2160	
	色再現	1.07G	
	パネルコントラスト比	1200:1	4000:1
	視野角 (上下 / 左右、CR 値 >10)	178° / 178°	
チューナー	チューナー *3	地上デジタル × 2 / BS・110 度 CS デジタル × 2 / BS 4K / 110 度 CS 4K × 1 地上デジタル UHF、CATV (CATV パススルー方式 *4)、011-528	
	受信可能チャンネル	BS デジタル : BS100 ~ BS999、110 度 CS デジタル : CS001 ~ CS999	
		BS・110 度 CS 4K : BS 4K 001 ~ 499、CS 4K 500 ~ 999	
ビデオ機能	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p/2160p	
	HDMI 4K 入力対応	3840 x 2160 : 24P / 30P / 60P	
パソコン入力フォーマット (HDMI 入力)		640 × 480@60Hz、800 × 600@60Hz、1024 × 768@60Hz、 1280 × 768@60Hz、1360 × 768@60Hz、1280 × 1024@60Hz、 1920 × 1080@24Hz、1920 × 1080@30Hz、1920 × 1080@60Hz、 3840 × 2160@24Hz、3840 × 2160@30Hz、3840 × 2160@60Hz、 4096 × 2160@24Hz、4096 × 2160@30Hz	
スピーカー	構成	内蔵ステレオ フルレンジスピーカー	
	脱着	不可	
音声機能	出力	7W × 2	10W × 2
	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル / BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力 各 1	
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ミニジャック) × 1	
		HDMI 入力端子 × 3 (CEC 機能対応)	
	音声入力	ステレオ入力端子 (ビデオ入力用変換アダプター使用時) × 2	
HDMI 入力端子 × 3 (映像入力と一体)			



## 主な仕様 (つづき)

形名		43A65H	50A65H
入出力端子	音声出力	光デジタル音声出力端子 × 1 ステレオヘッドホン出力端子 (ステレオミニジャック) × 1	
	USB 端子	USB2.0 端子 × 2 *5	
赤外線リモコン		専用リモコン EN3B40H	
オンスクリーンディスプレイ		あり	
チルト & スイーベル機能		なし	
壁掛け対応		あり [VESA: 200*300]	
付属品		「付属品を確認する」(🔍 17 ページ) をご覧ください。	
使用環境・ 保管環境	温度	使用環境 : 5℃ ~ 35℃ 保管環境 : - 20℃ ~ 60℃	
	相対湿度 (結露なきこと)	使用環境 : 20% ~ 65% 保管環境 : 10% ~ 80%	
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	スタンド含む	963mm × 614mm × 196mm	1117mm × 709mm × 225mm
	スタンド含まない	963mm × 560mm × 71mm	1117mm × 646mm × 74mm
本体重量	スタンド含む	7.0kg	9.8kg
	スタンド含まない	6.9kg	9.7kg

\*1 定格消費電力は、電気用品安全法に基づき算出しています。

\*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

\*3 地上 / BS / 110 度 CS デジタル放送で番組を視聴中、放送の裏番組を録画することができます。

\*4 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応します。

\*5 USB メモリーを接続して写真表示することもできます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。



この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

形名		65A65H
サイズ		65V 型
電源		内蔵 AC100V, 50/60Hz
消費電力*1		190W
待機電力 (リモコンでの電源 OFF 時)		0.5W
年間消費電力*2		209kWh
区分名		c
液晶機能	画面寸法	1428mm × 803mm
	バックライト	直下型 LED (D_LED)
	画素数	3840 × 2160
	色再現	1.07G
	パネルコントラスト比	1200:1
	視野角(上下/左右、CR 値 >10)	178° /178°
チューナー	チューナー*3	地上デジタル×2/BS・110度CS デジタル×2/BS 4K/110度CS 4K × 1 地上デジタル UHF、CATV(CATV パススルー方式*4)、011-528
	受信可能チャンネル	BS デジタル: BS100 ~ BS999、110度CS デジタル: CS001 ~ CS999
		BS・110度CS 4K: BS 4K 001 ~ 499、CS 4K 500 ~ 999
ビデオ機能	HDMI 入力	480i/480p/720p/1080i/1080p/2160p
	HDMI 4K 入力対応	3840 x 2160 : 24P / 30P / 60P
パソコン入力フォーマット (HDMI 入力)		640 × 480@60Hz、800 × 600@60Hz、1024 × 768@60Hz、 1280 × 768@60Hz、1360 × 768@60Hz、1280 × 1024@60Hz、 1920 × 1080@24Hz、1920 × 1080@30Hz、1920 × 1080@60Hz、 3840 × 2160@24Hz、3840 × 2160@30Hz、3840 × 2160@60Hz、 4096 × 2160@24Hz、4096 × 2160@30Hz
スピーカー	構成	内蔵ステレオ フルレンジスピーカー
	脱着	不可
音声機能	出力	10W × 2
	音声多重	あり
	サラウンド	あり
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル/BS・110度CS デジタルアンテナ入力 各 1
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ミニジャック) × 1
		HDMI 入力端子 × 3 (CEC 機能対応)
	音声入力	ステレオ入力端子 (ビデオ入力用変換アダプター使用時) × 2
HDMI 入力端子 × 3 (映像入力と一体)		



## 主な仕様 (つづき)

形名		65A65H
入出力端子	音声出力	光デジタル音声出力端子 × 1 ステレオヘッドホン出力端子 (ステレオミニジャック) × 1
	USB 端子	USB2.0 端子 × 2 *5
赤外線リモコン		専用リモコン EN3B40H
オンスクリーンディスプレイ		あり
チルト & スイーベル機能		なし
壁掛け対応		あり [VESA: 400*300]
付属品		「付属品を確認する」(🔍 17 ページ) をご覧ください。
使用環境・ 保管環境	温度	使用環境 :5℃ ~ 35℃ 保管環境 : - 20℃ ~ 60℃
	相対湿度 (結露なきこと)	使用環境 :20% ~ 65% 保管環境 :10% ~ 80%
本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	スタンド含む	1452mm × 896mm × 291mm
	スタンド含まない	1452mm × 834mm × 74mm
本体重量	スタンド含む	16.7kg
	スタンド含まない	16.5kg

\*1 定格消費電力は、電気用品安全法に基づき算出しています。

\*2 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

\*3 地上 /BS/110 度 CS デジタル放送で番組を視聴中、放送の裏番組を録画することができます。

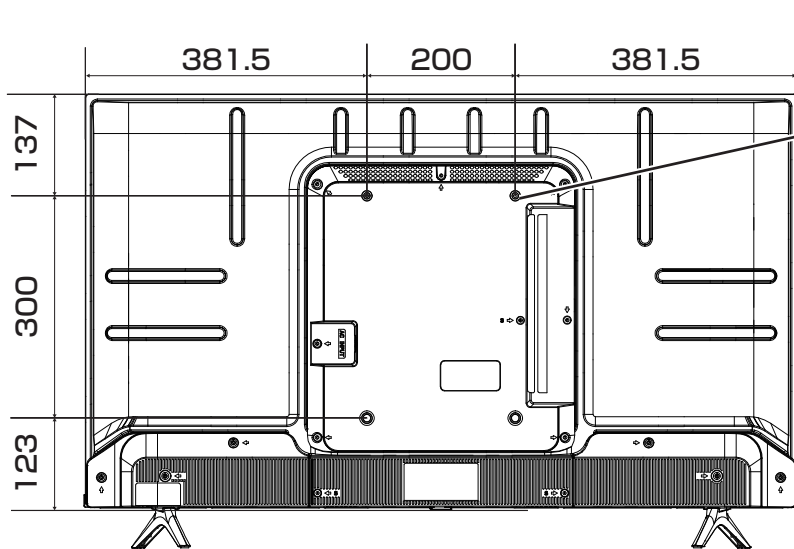
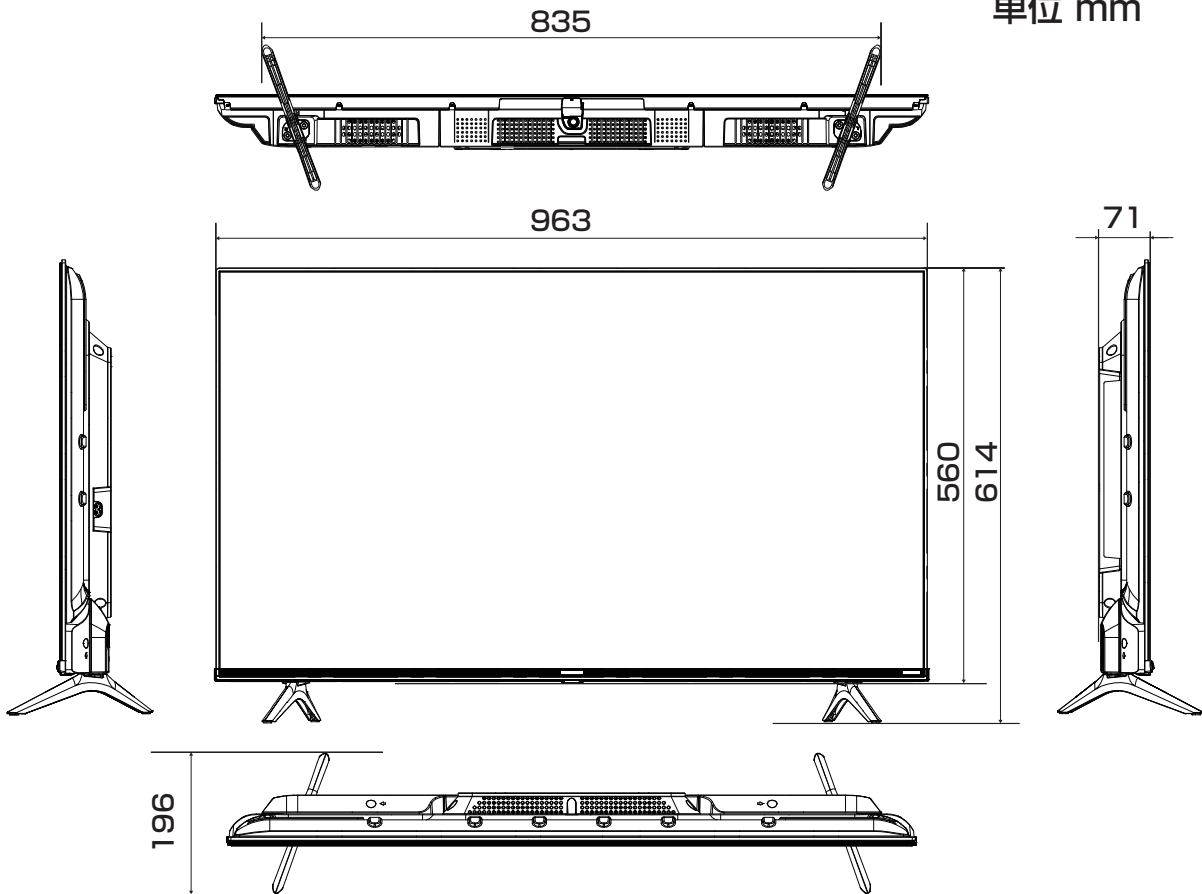
\*4 同一周波数パススルー方式 (UHF)、周波数変換パススルー方式 (VHF) の両方に対応します。

\*5 USB メモリーを接続して写真表示することもできます。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

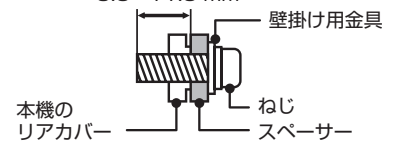
# 43A65H 展開図

単位 mm



壁掛け用ねじ穴  
(VESA 規格)  
4-M6  
深さ

9.5 - 11.5 mm



市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。スタンドを外すときは画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

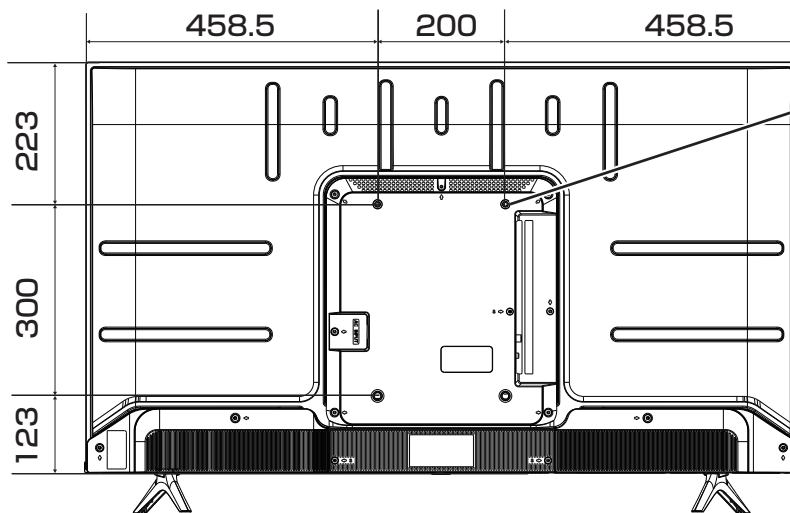
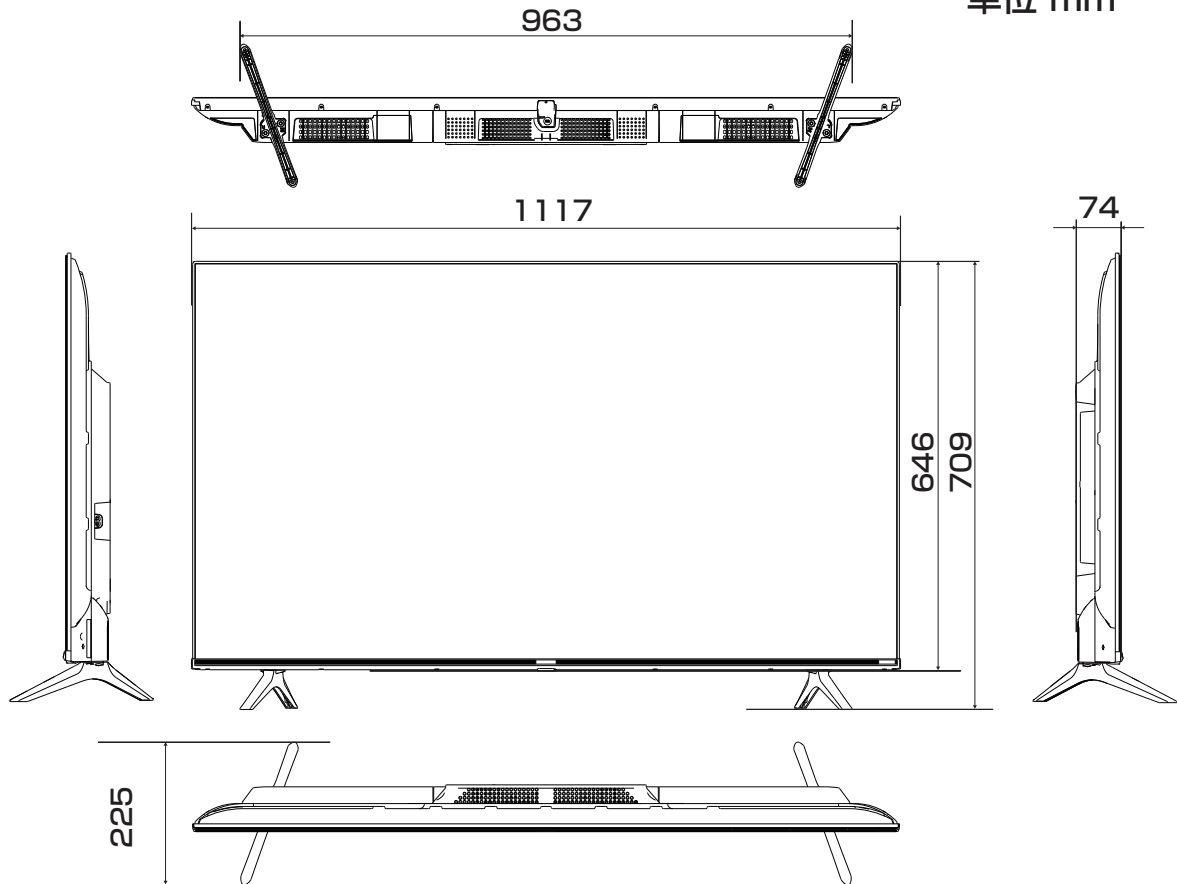
当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。



# 主な仕様 (つづき)

## 50A65H 展開図

単位 mm



壁掛け用ねじ穴  
(VESA 規格)  
4-M6  
深さ

9.5 - 11.5 mm

壁掛け用金具

本機の  
リアカバー

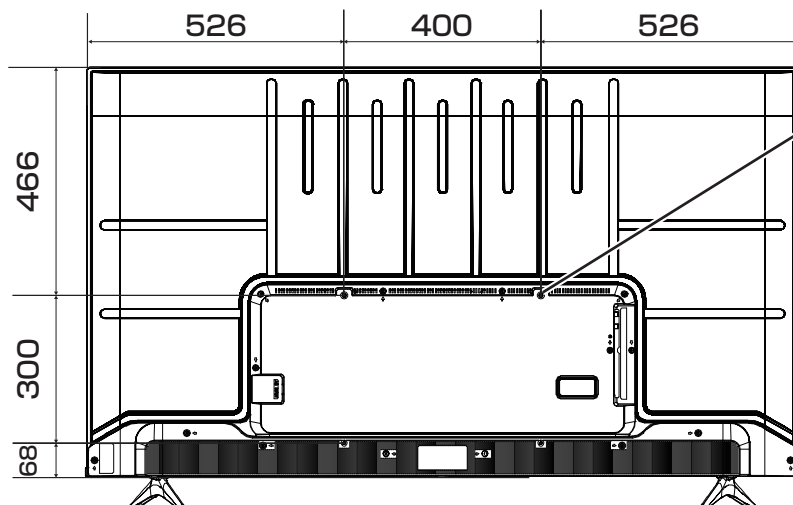
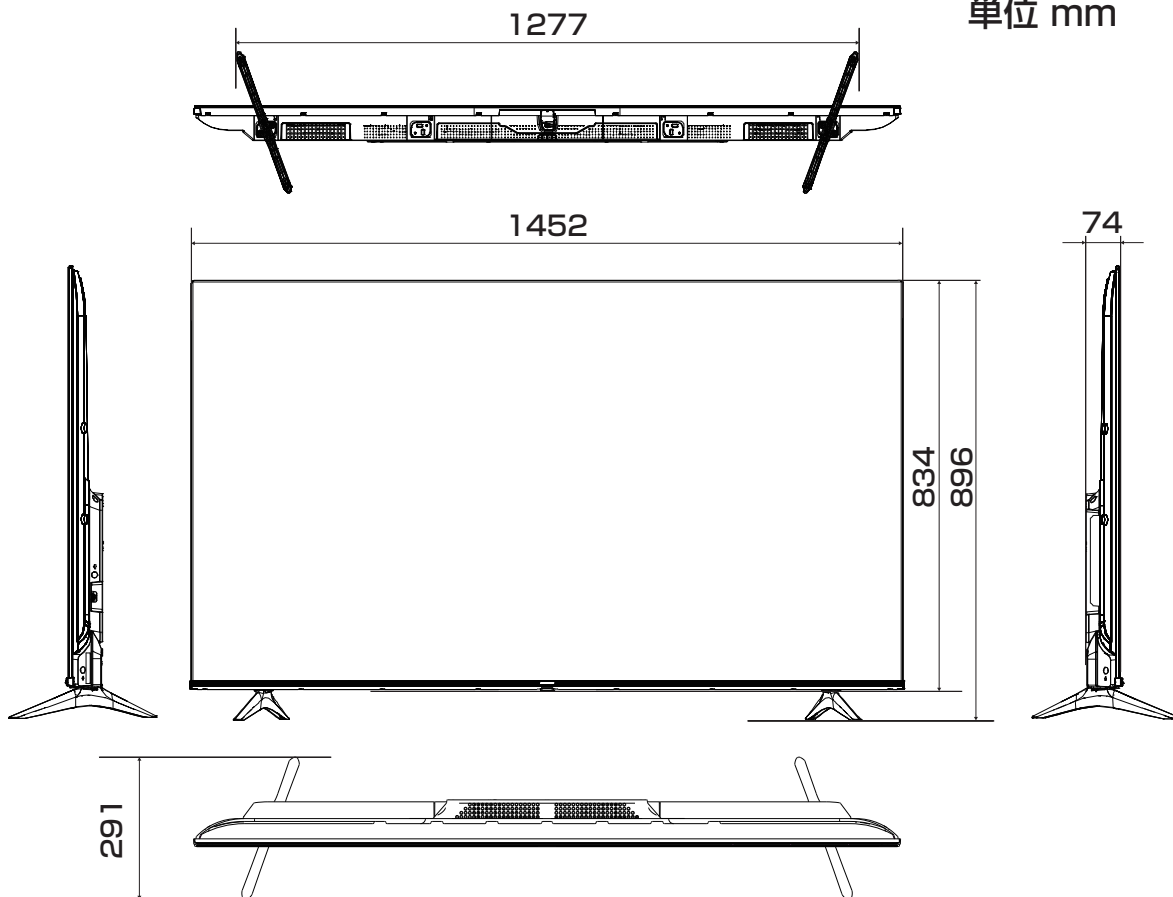
ねじ  
スペーサー

市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。スタンドを外すときは画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。

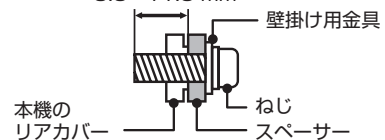
# 65A65H 展開図

単位 mm



壁掛け用ねじ穴  
(VESA 規格)  
4-M6  
深さ

9.5 - 11.5 mm



市販の壁掛け用金具をお使いになる場合は、スタンドを外してください。スタンドを外すときは画面を傷つけないよう、毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、スタンド用のネジを外してください。

当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。

# ● 有料衛星放送サービスについて

## スカパー！を見るには

- 本機は新 4K8K 衛星放送におけるスカパー！の放送に対応しています。  
※スカパー！は、BS/110 度 CS 放送および新 4K8K 衛星放送（4K 放送）の有料放送サービスです。  
※本機はスカパー！プレミアムサービスの受信には対応しておりません。
- お申し込みには、以下の準備が必要です。
  - ・ ACAS 番号  
スカパー！の放送を見るには、ACAS 番号でのお申し込みとなります。  
ACAS 番号の確認方法（🔍機能操作ガイド 55 ページ）
  - ・ 4K8K 対応アンテナ（4K 放送ご視聴時必須）または BS/110 度 CS 対応アンテナ  
※スカパー！の 4K 放送を見るには、4K8K 対応アンテナが必要です。ブースターや分配器などの受信設備の交換が必要になる場合があります。

詳しくは、<https://www.skyperfectv.co.jp/>

<お申し込み> スカパー！カスタマーセンター総合窓口（0120-039-888）

## WOWOW を見るには

- 本機は WOWOW の放送に対応しています。  
※その加入申し込みと契約が必要になります。  
詳細は以下のカスタマーセンターへお問い合わせください。

- ・ WOWOW カスタマーセンター  
0120-580-807  
<https://www.wowow.co.jp/>

## スターチャンネルを見るには

- 本機はスターチャンネルの放送に対応しています。  
※その加入申し込みと契約が必要になります。  
詳細は以下のカスタマーセンターへお問い合わせください。

- ・ スターチャンネルカスタマーセンター  
0570-013-111 または 044-540-0809  
<https://www.star-ch.jp/>

## その他の有料衛星放送サービスを見るには

- それぞれの有料衛星放送サービスの放送事業者へご相談ください。

## ACAS 番号についてのお知らせ

- 本機を廃棄または譲渡する場合は、ご契約された BS・110 度 CS の 4K 放送の NHK や有料放送局へ、変更または解除のご連絡をお願いします。
- ACAS チップが故障したときなど、部品交換修理により、ACAS 番号が変わりますので、その場合は、ご契約された BS・110 度 CS の 4K 放送の NHK や有料放送局へ変更のご連絡をお願いします。

# ● ライセンスおよび商標などについて



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
Dolby、ドルビー、Dolby Audio、ドルビーオーディオ 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



本製品は株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。  
ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。



この製品は Eilex International, LLC からの実施権に基づき製造されています。  
Eilex PRISM、VIR Filter、Eilex Focus は Eilex International, LLC の商標です。

- YouTube™ および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「NETFLIX」は、Netflix, Inc. の登録商標です。
- その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。
- 当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。

## ● AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

### PlayReady end user notice

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.  
(<http://www.openssl.org/>)
- This product has used the FreeType code.



# ● 無線の周波数について

## 本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波障害が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

**2.4 DS/OF 4**

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

## 電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解 / 改造すること
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと

## 無線 LAN の周波数の見かた

準拠規格：IEEE802.11 a/b/g/n/ac



### 使用周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）

2.412-2.472GHz/1-13ch  
5.180-5.240GHz/W52：36, 40, 44, 48ch  
5.260-5.320GHz/W53：52, 56, 60, 64ch  
5.500-5.700GHz/W56：  
100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128,  
132, 136, 140ch

① 使用周波数	2.4GHz
② 変調方式	DS-SS 方式 / OFDM 方式
③ 電波と干渉距離	40m 以下
④ 周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ構内無線機器と特定小電力機器の帯域を回避可能であることを意味する。

※ 本機の無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

# ● 保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

## 保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

本体の保証期間は、お買い上げの日から3年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」をご参照いただき、故障かどうかお調べください。

### それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

#### ● 電話によるお問い合わせ

受付時間: 365日 9:00 ~ 18:00

フリーダイヤル: **0120-835-111**

#### ● FAXによるお問い合わせ

FAX 番号: **0570-06-1117**(有料)

※お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

#### ● メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは <https://www.hisense.co.jp/contact/> のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

※サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用されるようお願いいたします。

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

## 補修用性能部品の保有期間 8年

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後8年保有しています。

※補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## ● 保証とアフターサービス（つづき）

● ご相談になるときは以下のことをお知らせください。

形名：

製造番号：

使用状況や故障の状態（できるだけ詳しく）：

購入年月日：

年 月 日

お買い上げ店

### 愛情点検



### 長年ご使用のテレビの点検を！

#### このような症状はありませんか？

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像がときどき消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

#### 異常があればご使用中止

事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。